

大西ゼミ実習報告書

2004年(平成16年)

# インターンシップで見えてきたこと !!

2005年 3月

関西大学社会学部 社会システムデザイン大西ゼミ

関西創業サポートセンター

## はじめに

関西大学社会学部では、学生を主体として運営される産業社会実習という授業を設け、学生が産業社会に多く接する機会を与えられるように心がけてきている。

毎年年度始めに、年間のテーマ設定や、実際の行動プラン、調査対象などを全て学生とともに企画立案し、それを基に調査、分析を行い報告書の形でまとめている。

この授業も過去10年以上にわたり主に東大阪市の中小企業調査を・分析に行われてきており、平成13年度からはインターンシップを課題の一つに取り上げ、関西大学はじめ関西学院、同志社大学、甲南大学等と連携し社長と直に面談を行い、肌で経営状況を実体験する形での中小企業の実情を調査してきた。

平成15年度は、秋田県の「あきたこまち生産者協会」、兵庫県の「(株)香寺ハーブガーデン」、大阪市の関西創業サポートセンターでインターンシップを体験し「インターンシップ・その未知なる挑戦」にまとめている。

本年度に実施した、雇用・能力開発機構の関西創業サポートセンターでのインターンシップは、昨年度に引き続き、起業・新分野を目指す方々へのサポート業務を、肌で感じることができる距離において体験をすることにより、今後の自らのキャリアを再確認するという作業をも取り入れられた。(啓発的経験)

学生自らのキャリアを考えさせた、サポートセンターの業務環境にも助けられたところがありその成果も一定の評価を得た。

最後に、インターンシップを受け入れていただいた、関西創業サポートセンターの関係者に対して厚く御礼申し上げます。

2005年3月  
産業社会実習

担当者 大西 正曹



## 関西創業サポートセンターでのインターンシップ概要

### 1 特 徴

- ① 就職活動の開始を前に、各種の職業を創業、起業という視点から考える。
- ② 創業を目指す方、創業した方及び彼らをサポートする職員に関わることにより自分の就職観との差を眺める。
- ③ 経済・社会活動と仕事の連関を眺める。(仕事のつながりと業種のつながり)

### 2 実施期間

平成16年11月8日～11月30日(平日)

実施時間 1日の営業時間(9:30～20:30)を  
4区分して、各時間帯で体験。

### 3 内 容

- ・ 創業者、サポートセンター職員等への各種ヒアリング
- ・ サポートセンター業務内容のプレゼンテーション
- ・ 受付対応(電話、来所者等)、公開講座、セミナー等の各種準備

### 4 参加者

関西大学 社会学部 大西ゼミ学生(3年生) 26名

### 5 報告会

平成16年12月15日(水) 10:00～12:00

## 目次

1. インターンシップ概要	1
2. 全国へ広がる職業能力開発のネットワーク	2
3. 関西大学社会学部の受け入れ（インターンシップ）について	5
4. インターンシップドキュメント	10
・ 11月 9日	
・ 11月10日	
・ 11月11日	
・ 11月12日	
・ 11月15日	
・ 11月16日	
・ 11月17日	
・ 11月18日	
・ 11月19日	
・ 11月24日	
・ 11月25日	
・ 11月26日	
・ 11月29日	
・ 11月30日	
5. 私たちの職業観	28
6. インターンシップ全体の感想	
6・1	29
6・2	30
6・3	31
6・4	32
6・5	33
6・6	35
6・7	36
6・8	37
6・9	38
6・10	39
6・11	40
6・12	41
6・13	42



6・14	.....	43
6・15	.....	44
6・16	.....	45
6・17	.....	46
6・18	.....	47
7. インターンシップ期間中の作成資料他	.....	48
8. 報告会の流れ	.....	54
9. 関西創業サポートセンターでのインターンシップの受け入れについて	.....	59

## インターンシップ概要

関西大学社会学部専門演習大西クラスでは、実際の現場を通じて学ぶ機会が多く与えられています。2004年前期では、大阪府東大阪市高井田に集積する中小企業群を一社一社訪問し、調査をおこないました。そして、後期の活動の取り組みの一環として関西創業サポートセンターでのインターンシップを実施しました。

関西創業サポートセンターでは、最近のわが国の雇用情勢は、完全失業率が過去最高水準で推移する等、非常に厳しい状況が続いています。このため、良好な雇用機会創出の実現を図ることが、雇用対策としてますます重要となってきました。また、起業等の希望を持っている方は、総務省の調査（平成9年）によると約124万人おられながらも、実際の事業所の新設は年間17万事業所（平成11年）となっています。つまり、約100万人の方が起業等を断念されているのです。起業時の障害には、資金調達や取引先の開拓、人材の確保といった様々なものがありますが、職業能力ということもあるのです。そして、その職業能力に視点を当てた支援は行われていませんでした。厚生労働省 雇用・能力開発機構では、従来より神奈川県相模原市にある職業能力開発総合大学校をはじめとして、国内の各地域に職業能力開発・人材養成のための施設を開設して、様々な支援活動を行ってきましたが、それらの活動の中で得られたノウハウや事業資源等を総合的に活用して、個人の起業や事業主の新分野進出を積極的に支援し、良好な雇用機会の創出を図っていくために、「新分野等への事業展開に必要な相談援助・人材育成」事業を平成13年度第1次補正予算に盛り込んで新たに展開していくこととして、その具体的な相談等の窓口となる「起業・新分野展開支援センター」を開設いたしました。

私たちは、その関西創業サポートセンターでの貴重な労働体験を通じ、機構の役割と重要性を見出すことを狙いとししました。また、それぞれ個人が課題を設定し、その課題を通すことで、仕事に対する意識を高められると思います。そのことが、今後の人生の大きな糧になるに間違いないと確信しています。



## 全国へ広がる職業能力開発のネットワーク

### 職業能力開発総合大学校

職業能力開発総合大学校は、職業訓練指導員の養成を目的として高校卒業者等を対象とした長期課程(4年制)、一般大学の大学院に相当する研究課程(2年制)や応用研究課程(1年制)、職業訓練指導員などのレベルアップのための研修課程を設置しているほか、職業能力開発に関する調査・研究と情報発信を行っています。

また、起業・新分野展開支援センター(愛称:創業サポートセンター)を東京都港区及び大阪市中央区に設置し、起業を希望する方々、新分野への事業進出を考えている事業主の方々への能力開発や人材養成の側面からの支援を行っています。

さらに、職業能力開発総合大学校東京校では、先導的な高度職業訓練を実施しています。

### 職業能力開発大学校

#### 職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ)

職業能力開発大学校(10校)及び職業能力開発短期大学校(1校)は、技術革新に対応できる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた実践技術者(テクニシャン・エンジニア)の育成を目的として、高校卒業者等を対象とした専門課程(2年制)と、在職者の方々を対象とした高度な技術・知能を習得する能力開発セミナーを実施しています。さらに、職業能力開発大学校においては、産業界や地域のニーズに応じて、高付加価値化などを担う高度な人材の育成を目的として、専門課程修了者等を対象とした応用課程(2年制)と、在職者の方々などが高度で専門的かつ応用的な技能・知識を習得する企業人スクールを実施しています。専門課程では独自の「実学融合」の教育訓練を行っており、応用課程では製品の企画開発から製作までの創造的・実践的なものづくり能力を習得し、新製品の開発、生産工程の構築などに対応できる将来の生産技術・生産管理部門のリーダーを育成します。

このほか、求職者の方々を対象とした各種職業訓練を実施するなど多様な職業能力開発ニーズに応えています。

### 生涯職業能力開発促進センター

#### (アピリティガーデン)

ホワイトカラーの職業能力開発に関する総合的・中核的拠点として、産業団体や企業等の協力のもと、ホワイトカラーの職業能力の開発や向上に関する調査・研究を行い、得られた成果をもとに、先導的で実践的な教育訓練や情報提供、相談援助などを行っています。

## 高度職業能力開発促進センター

(高度ポリテクセンター)

全国の事業主団体や事業主の方々などが従業員に対し、段階的・体系的な職業能力開発を実施するに当たり、必要とされる高度・先端的な専門知識や技術に関する能力開発セミナーなどを実施しており、先導的役割を担う施設として運営されています。

## 職業能力開発促進センター(ポリテクセンター)

全国各地に62ヶ所設置され、求職者の方々を対象にした各種職業訓練や在職者の方々を対象にした能力開発セミナーをはじめ、多くのプログラムを用意し、職業能力開発の多様なニーズに応じています。

## 独立行政法人雇用・能力開発機構都道府県センター

(都道府県センター)

全国の都道府県センターでは、あらゆる教育訓練資源を活用した委託訓練を行っています。また、求職者、在職者、事業主など幅広い利用者の方々に対して、職業能力開発に係る制度案内から、手続き説明、関係機関への取り次ぎまで一貫した総合的な相談や情報の提供を行っています。

さらに、能力開発支援センターや沖縄北部雇用能力開発総合センターにおいて地域の事業主や労働者の方々の自発的な職業能力開発に関する相談援助や情報提供、雇用管理などに関する相談援助や情報提供を行っています。

## 国際能力開発支援センター

事業活動の国際化に対応した従業員の職業能力の開発や向上を図る事業主の方々などを支援する施設で、国際化対応能力の開発・向上に関する各種情報の収集・提供・専門知識を有するアドバイザーによる相談援助を行っています。

## 地域職業訓練センター

中小企業事業主の方々などが従業員の職業能力開発のために利用できる施設で、教室や実習場などを備え、地域に密着した多様な職業能力開発の場となっています。

## 情報処理技能者養成施設(コンピュータ・カレッジ)

情報産業が多く立地している地域の中小企業事業主の方々の従業員などの教育訓練のため、情報処理関連の職業能力開発の場となっています。



### 建設技能研修センター

建設労働者の方々に対し、型枠工、とび工など野丁場職種の教育訓練のための施設で、宿泊設備も整っています。

## 関西大学社会学部学生の受入(インターンシップ)について

### 1 インターンシップ受入に際しての当センターからのお願い

- ・ 期間中に各人の中で発生した「なぜ」や「どうして」を恥ずかしがらずに聞いてください
- ・ 業務遂行において、学生の皆さんから見た観点での率直な意見をください。

### 2 受け入れ条件

- ・ 服装は、リクルースタイルとすること
- ・ 通勤、食事などの経費は、各人負担とすること
- ・ 労働ではないため、賃金の支給はないこと、また、災害傷害保険に加入していること
- ・ 最終日に、目的に対する結果報告会を実施すること
- ・ サポートセンター内で知り得た個人等機密情報を持ち出さないこと、また、漏らさないこと

### 3 インターンシップ内容

- ・ 受付(来所者、電話対応、雑務)
- ・ 公開講座、セミナーなどの事前準備及び聴講
- ・ 職員への個別質問、相談
- ・ 研究室運営管理

### 4 受入期間

平成16年11月8日～30日までの平日

### 5 受入時間

- ① 09:30～12:45
- ② 12:45～14:45
- ③ 13:30～17:15
- ④ 15:30～20:30



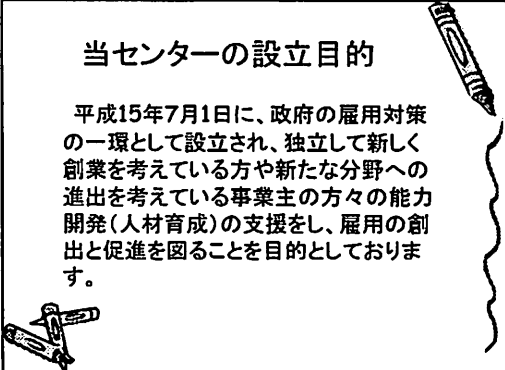
関西大学社会学部  
大西ゼミの皆様へ

関西創業サポートセンター  
での受入概要



当センターの設立目的

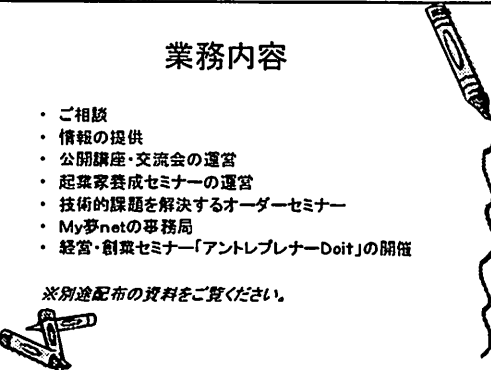
平成15年7月1日に、政府の雇用対策の一環として設立され、独立して新しく創業を考えている方や新たな分野への進出を考えている事業主の方々の能力開発(人材育成)の支援をし、雇用の創出と促進を図ることを目的としております。



業務内容

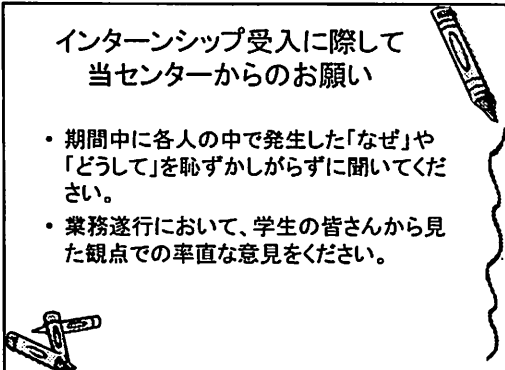
- ・ ご相談
- ・ 情報の提供
- ・ 公開講座・交流会の運営
- ・ 起業家養成セミナーの運営
- ・ 技術的課題を解決するオーダーセミナー
- ・ My夢netの事務局
- ・ 経営・創業セミナー「アントレプレナーDoit」の開催

※別途配布の資料をご覧ください。



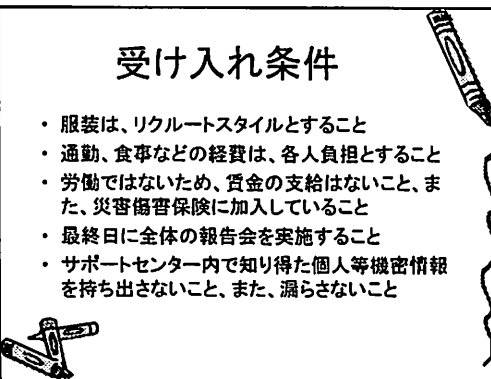
インターンシップ受入に際して  
当センターからのお願い

- ・ 期間中に各人の中で発生した「なぜ」や「どうして」を恥ずかしながら聞いてください。
- ・ 業務遂行において、学生の皆さんから見た観点での率直な意見をください。



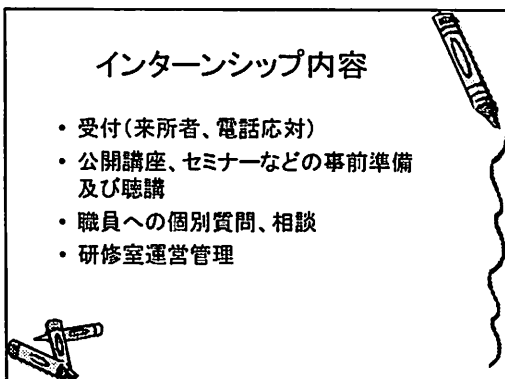
受け入れ条件

- ・ 服装は、リクルースタイルとすること
- ・ 通勤、食事などの経費は、各人負担とすること
- ・ 労働ではないため、賃金の支給はないこと、また、災害傷害保険に加入していること
- ・ 最終日に全体の報告会を実施すること
- ・ サポートセンター内で知り得た個人等機密情報を持ち出さないこと、また、漏らさないこと



インターンシップ内容

- ・ 受付(来所者、電話対応)
- ・ 公開講座、セミナーなどの事前準備及び聴講
- ・ 職員への個別質問、相談
- ・ 研修室運営管理





受付に一番大事なことは・・・

笑顔です！

- お客様と、最初と最後に顔を合わせるのが受付です。
- お客様に気持ちよく帰っていただけるよう“和顔愛語”を心がけましょう。

出勤してまずやることは

センター内の環境をONモードに！

- いろいろなものの電源をONに  
(パソコン、ポット etc)
- 看板、新聞などを設置
- 部屋の掃除



お客さんが来たら・・・

1.まず挨拶をしてください。

- 初めての場所は、なんとなく入りづらいものです。
- 気軽に入ってこれるように、「こんにちは」「こんばんは」などこちらから先に挨拶をしましょう。

お客さんが来たら・・・

2.まずどういう目的でこられたのかを聞きます。

- 来られるお客様は
  - ①創業の相談、②セミナーへの出席、
  - ③ビデオや図書、パソコン等の利用、
  - ④その他 に分類されます。

お客さんが来たら・・・

3.ご利用申込書に記入をお願いします。

- 記入の趣旨と個人情報の守秘を確認
- 住所等の記入を拒否される方に無理強いはいはしないこと

### ご利用申込書(上半分)

平成16年10月 日

**ご利用申込書**

◎ 個人の情報及び相談内容等については、守秘いたします。  
関西創薬サポートセンター長

※ 以下の事項をご記入の上、お帰りの際にお手付けください。

受付回数	<input type="checkbox"/> 初めて	<input type="checkbox"/> 2回以上	
予約の有無	<input type="checkbox"/> 予約時間 時 分より	<input type="checkbox"/> なし	
お名前等	フリガナ	居住地	年齢
	氏名		～歳迄 X歳 X歳 歳迄 歳迄 歳迄
本日の来所目的	【相談センター/相談ブース】	【情報貸付コーナー】	
	<input type="checkbox"/> 総合相談 <input type="checkbox"/> コンサルタントの先生 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 図書、雑誌、パンフレット等の貸付収集 <input type="checkbox"/> ビデオ貸付 <input type="checkbox"/> DVD貸付 <input type="checkbox"/> ノートパソコン等の貸付収集	

### ご利用申込書(下半分)

※ 当センターをご利用の際は、付添った「利用者のみご記入下さい。」の欄に以下の事項を記載してください。

当センターの会員登録 )  セミナーの参加 )  
 本館センターメールマガジン )  研修、講座、セミナー )  
 予約センター/センター長 )  コンサルタントの先生 )  
 予約センター/センター長 )  個人 )  
 その他 )  その他 )

※ 以下の連絡先は、今後、当センターの相談内容からの連絡や当センターで開催するセミナーの案内に利用します。  
ご変更のある方は変更事項のあり方のみ、ご記入ください。  
なお、姓を記載された方は、お名前、姓を併記もいただけますので記入下さい。

連絡先	姓 名	
<input type="checkbox"/> 郵便先	〒 番 号 番 号	
<input type="checkbox"/> 自宅		
<input type="checkbox"/> その他		
	電話	FAX
	E-mail	

※ 当センターへの来館、ご要望をお聞かせください。

※ 受付回数 受付時間 受付時間



〒 番 号 番 号 番 号 番 号

### お客さんが来たら・・・

#### 4.目的の場所までご案内します。

- 担当のアドバイザーへ誘導
- 希望のビデオ等の貸出、返却
- 機器の使い方の説明

### アドバイザー

↑ 出雲さん
↑ 久保さん

### 空いている時間は・・・

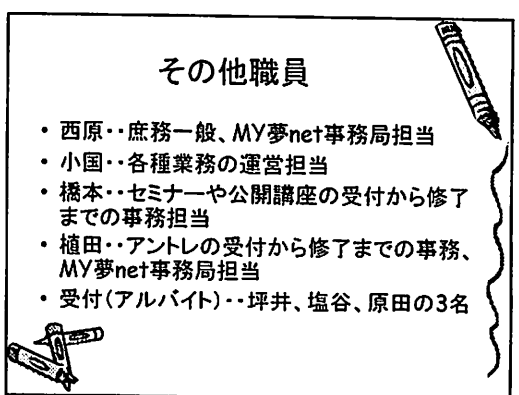
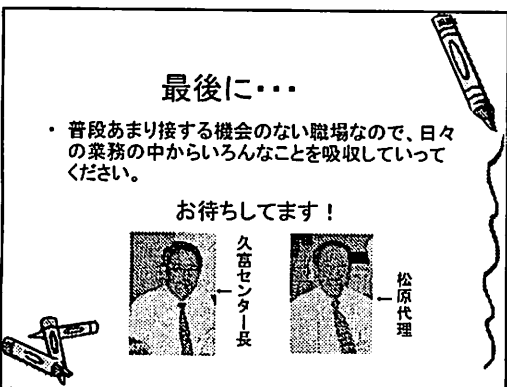
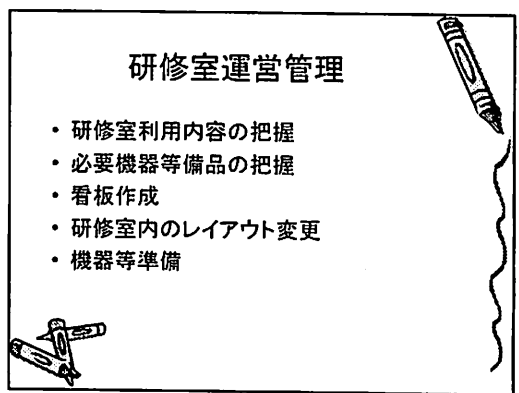
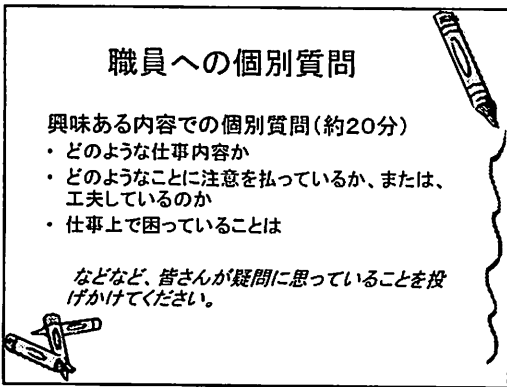
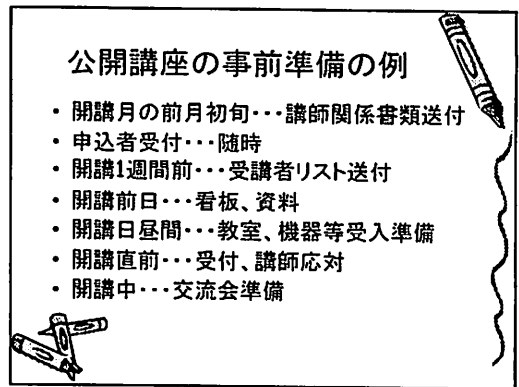
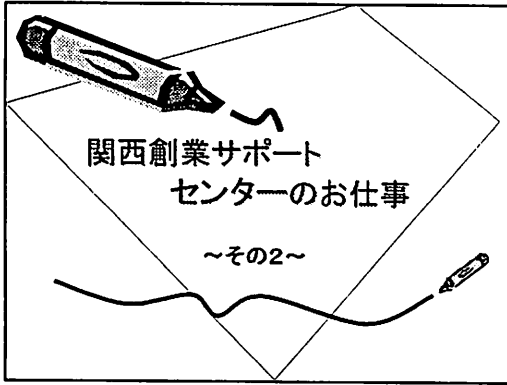
- 電話の対応
- メールチェック
- セミナーの申込者をデータベースに転記
- セミナーの準備
- 看板の作成
- 郵便物のチェック

etc・・・

### 帰るときには・・・

センター内の環境をOFFモードに！

- いろんなものの電源をOFFに (パソコン、ポット etc)
- 看板、新聞などの片付け
- 部屋の掃除





## 11月9日 火曜日

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付(電話対応など)

<感想コメント>

一番最初ということもあり、とても緊張しました。午後だったため、直接来られたお客様への対応は出来ませんでした。電話対応では、話すことの難しさを感じました。センターを利用して、創業された方の表を見ました。次は、直接お客様への対応が出来れば良いなと思っています。

<引継ぎ・アドバイス>

センターの方々はとても親切で、1人で来た私も最初は頭の中が真っ白でしたが良い時間を経験できました。午前と午後では仕事が変わってくるそうです。(午後の方がお客さんが増えるので)これから1ヶ月頑張っていきましょう。

## 11月10日 水曜日

<勤務時間> 13:30~15:30

<仕事内容> 受付、お客様の接待、事務(文書のファイル化)

<感想コメント>

初めての体験でとても緊張しましたが、皆さんとてもいい方でいろんなことを教えて頂きました。NPOを設立された相川事務局長のお手伝いをさせていただき、話を聞いてよかったです。

<引継ぎ・アドバイス>

あいさつをしっかりと、自分から意欲的に取り組みましょう。名札づくり頑張ってください。

<勤務時間> 15:30~20:00

<仕事内容> 受付(来客者情報入力、講座申し込みなど) / 雑務

<感想コメント>

今日この関西創業サポートセンターで働かせていただいて一番感じたことは、職員の方々が皆さん本当に親切で、話しやすかったことです。ここに来るまでは、慣れないスーツを着ていたということもあり、緊張して肩に力が入っていましたが、最初に出会った受付の原田さん、細かくサポートして下さった西原さん、そして受付の仕事に内容を丁寧に教えて下さった坪井さんのおかげで、肩の力も抜け、本当に落ち着いて楽しく仕事を覚えることができました。センター長の久富さんも笑顔で気さくに話しかけて下さって、本当にうれしかったです。3週間のインターンシップ期間とはいえ、実際来れるのはあと3日なので、早く仕事を覚えてお客様への対応にまで、心

を配れるようになりたいです。

<引継ぎ・アドバイス>

このセンターを「自分のため」にフル活用していったらいいと思います。仕事を覚えて慣れることも大切だと思いますが、あまり身構えず、職員の方々とたくさんお話ししたりして、自分の将来に役立てていくのいいのではないのでしょうか？仕事でわからないことや困ったことがあれば、職員の方々が親切に教えてくださるので、どんどん聞いて楽しんでやっていきましょう。

11月11日 木曜日

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付 会議準備 雑務

<感想コメント>

慣れない経験をさせていただきいろいろ勉強になりました。また、センターの方はとても親切で質問などもしやすく楽しく働くことができました。現在の業界についての知識が増えたのもよい経験になったと思います。

<引継ぎ・アドバイス>

働くことだけでなくセンターの方がいろいろ話してくださることがとても面白いと思います。言われたことだけでなく、率先してインターンシップを有意義なものにしていきましょう。

<勤務時間> 9:30~12:15

<仕事内容> 受付 雑務

<感想コメント>

初日ということもあり、全くどうしていいかわかりませんでしたが、センターの方が丁寧に教えてくださったのでとても充実した時間になりました。これかもっと話を聞きたいです。

<引継ぎ・アドバイス>

わからないことや聞きたいことがあれば、積極的に尋ねましょう。皆さん丁寧に教えてくださいます。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付・雑務

<感想コメント>

初日ということもあり、緊張していたが、スタッフのアドバイスでうまく仕事をこなすことができた。パソコンの知識があると、会社に出て便利であると実感した。

<引継ぎ・アドバイス>

分からないことはしっかり聞いて、どんどん自分のできる仕事を増やしましょう。電話対応は最初は緊張するかもしれないが、しっかりメモを用意して、話す内容や段取りを確認しておけばやりやすいと思います。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 会議準備 新聞切り抜き

<感想コメント>

スタッフの方との話し合いで、ここでの仕事や業務がわかった気がした。このような事務所的な所で働く機会は今までなかったので、よい経験になりました。

<引継ぎ・アドバイス>

新聞の切り抜きは中身を読んでから、どこを切り抜くか決めてください。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 会議準備 雑務

<感想コメント>

この体験により社会人としての様々なマナーがあるとわかった。社員の方の様々な話を聞いてとてもためになった。

<引継ぎ・アドバイス>

朝はあまりお客さんが来ないので昼以降に入ったほうが良いと思います。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 会議準備 新聞の切り抜き エクセル ノートン

<感想コメント>

労働者の魂に触れた気がしました。アドバイザーの方の話がおもしろかったので、機会があれば話を伺おうと思いました。

<引継ぎ・アドバイス>

楽しんでやってください。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 会議準備 パソコンの変更 エクセルでの用紙作り 新聞の切り抜き

<感想コメント>

仕事の大変さや苦しさは、体験できなかったが仕事のおもしろさややりがいが少しだけわかった。スタッフの方々が熱い気持ちを持って仕事をしていると思った。

<引継ぎ・アドバイス>

仕事に対するやる気を見せれば、伝わると思います。分からないことは、何でも聞くといいと思う。

<勤務時間> 9:30~17:15

<仕事内容> 受付（情報入力、電話対応） パンフレット作成 雑務

<感想コメント>

電話対応は言葉遣いなども難しくとても緊張しました。午前中に久保菌さん、午後は出雲さんと、アドバイザーの方々とゆっくりお話する時間があり、大変貴重なお話を聞かせていただくことが出来ました。

<引継ぎ・アドバイス>

電話対応は慣れが一番！！最初は緊張するけど、頑張りましょう。

<勤務時間> 13:30~17:15

<仕事内容> 受付 雑務

<感想コメント>

初日ということもあり、どうしたらいいのか戸惑った。これから社会人としてのマナーを身に着けたいと思う。出雲さんに話していただいた就職についてのアドバイスがとても参考になった。

<引継ぎ・アドバイス>

すごく親切に教えてくださいます。頑張っていきましょう。

#### 11月12日 金曜日

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付 プレゼンの作成

<感想コメント>

コーヒ一杯入れることも決して簡単ではないと思いました。また、改めて電話対応の難しさ、頭でわかっているけど実行すると緊張しミスをしてしまいことがわかりました。経験の大切さを知りました。

<引継ぎ・アドバイス>

11月16日に関西創業サポートセンター案内のプレゼンをするそうです。積極的に仕事を見つけられるよう頑張りましょう。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付 プレゼンの作成

<感想コメント>

初めて電話対応をし、様々な状況にも対応できるように早く慣れたいです。センターの雰囲気があったように思います。

<引継ぎ・アドバイス>

積極的にいろいろなことに取り組み、多くのことを体験しましょう。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> パワーポイント 受付

<感想コメント>

プレゼンを任された。難しい仕事だと思うけど、頑張ろうと思う。パワーポイントをわかりやすく改良していくのはおもしろかった。

<引継ぎ・アドバイス>

何度も経験することが大切だと実感しました。

11月15日 月曜日

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 公開講座の準備

<感想コメント>

パソコンを使って看板を作ったが授業のようにはいかずかなり手間取った。社会に出れば、事業のように一つ一つ教えてくれるわけではないので、改めてパソコンを使う能力の重要性を知った。

<引継ぎ・アドバイス>

単純だと思われる作業でも完璧を目指すことは難しいと思います。少しずついろんなことを経験させていただきましょう。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 公開講座の準備

<感想コメント>

パソコンはやはり使いこなせないといけないと感じた。また、企業内での情報管理の意識についても学びました。

<引継ぎ・アドバイス>

19日の公開講座に向けての準備があります。当日はもちろん、その日までの準備の業務があります。頑張りましょう。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 公開講座の準備

<感想コメント>

パソコンの打ち込みをしましたが、手間取ってしまった部分があるので、次回はもっとスムーズにしたいと思います。

<引継ぎ・アドバイス>

19日は公開講座があるのでしっかり準備を手伝いましょう。パソコンの使い方を復習したほうが良いと思います。

<勤務時間> 13:30~17:00

<仕事内容> アントレプレナー Do itの説明と受講者リストの作成

<感想コメント>

産学官連携のビデオを見て、自分もしっかり学びたいと思った。大量の受講者リストを登録するのが大変だと思った。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 13:30~17:00

<仕事内容> アントレプレナー Do itの説明

<感想コメント>

ビデオを見せてもらいこの会社の活動内容が少しではあるがわかって良かった。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 13:30~17:00

<仕事内容> アントレプレナー受講者リストの作成の説明

<感想コメント>

オフィスの様子や働く人の様子などがわかった。この業務に関して以前は漠然としてしか知らなかったが、だいぶ理解できた。

<引継ぎ・アドバイス>

## 11月16日 火曜日

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 新聞の切り抜き プレゼン

<感想コメント>

プレゼンは、頭の中で話すことがまとまっておらずしどろもどろだった。何も知らない人にわかりやすく伝える難しさを実感した。センター長の話が就職を考えるためにすごく役に立った。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 新聞の切り抜き

<感想コメント>

就活をはじめたということもあり、興味がある話が聞けてとてもためになった。やはり、実際に仕事をしている方の話には重みがある。あと、新聞を読もうと思った。社会に出るのは大変!!脱帽です!!

<引継ぎ・アドバイス>

聞きたいことは聞いて、パソコン・図書も自由に見ていいそうです。仕事もあるけど他の時間は有効利用しましょう。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付(ビデオ貸し出しの入力)

<感想コメント>

特に仕事は出来ませんでした、その代わりに図書を閲覧させてもらったり、久保蘭さんに進路の相談にのってもらい、自分にとって有意義な時間を過ごせた。「日経ビジネス」をまじめに読み、ものの見方が変わり視野が広がった気がします。

<引継ぎ・アドバイス>

簡単なことでもいいので、自分の思っていることや相談したいことなど、職員の方に機会を見つけて聞いてみるとためになる話が聞けていいと思います。

<勤務時間> 13:30~17:30

<仕事内容> パワーポイントの作成

<感想コメント>

センター長の貴重な話を聞き、自身のビジョン構成に役立てたいです。次回の出勤にも新たな事を学ばせてもらうようしっかり腹を決めてきます。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 13:30~17:30

<仕事内容> パワーポイントの作成

<感想コメント>

イーウーマンの女性社長のセミナーのビデオを見、これから社会に出て働くにあたり、とても強い印象を受けました。センター長からいろいろな話を聞かせていただき、これからの就職活動に役立てていきたいと思いました。

<引継ぎ・アドバイス>

これから社会に出て働くためのビデオや図書がたくさんあるので、どんどん活用した

らいいと思います。

<勤務時間> 15:30~18:00

<仕事内容> 受付 来訪者リストの打ち込み

<感想コメント>

普段のアルバイトでも電話に対応することはあるが、やはり自分の知らないところでは難しかった。センターの人は、丁寧に教えてくれたし楽しく出来た。

<引継ぎ・アドバイス>

違う環境で働くというのは簡単な仕事だとしても勉強になる。積極的にしたほうがいいと思います。

<勤務時間> 15:30~18:00

<仕事内容> 受付 来訪者リストの打ち込み

<感想コメント>

自分の知らない業種での受付は、初め不安だったが説明を聞きやってみると緊張しながらもなんとか出来た。打ち込みも落ち着いてやれば大丈夫だった。バイトで似たことをしているが、自分の知らないところでは難しい。謙虚な気持ちを忘れずにいこうと思う。

<引継ぎ・アドバイス>

自分のなれない場所での仕事は不安もあり緊張するが、それが新鮮な気持ちにさせてくれるので、そういう気持ちを忘れないで生かしていけばいいと思います。

11月17日 水曜日

<勤務時間> 9:30~16:00

<仕事内容> 新聞の切り抜き データ入力

<感想コメント>

自分自身の中で「仕事」というものを考えていく上において、非常に参考になる話を聞くことができた。常に相手がいるということを考えながらこなしていくことの大切さを学ぶことができた。

<引継ぎ・アドバイス>

時間があれば積極的に職員の方と話をしていくと、今後の参考になるようなアドバイスを頂けると思うので、できるだけコミュニケーションをとるように意識しながらやっていくと良いと思います。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 新聞の切り抜き 会社説明



<感想コメント>

スタッフの話聞いて、これから社会に出て行くにあたっての目標の持ち方、夢を実現する方法など、これからとても重要になる話を聞けてためになった。今後自分の将来設計していく上で、糧にしていきたい。

<引継ぎ・アドバイス>

今の社会の生の声が聞けると思うので今後に役立ててほしい。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 新聞の切り抜き 会社説明

<感想コメント>

起業する考え方をすることにより、就職に対する考え方をまとめるヒントになった。目的意識の大切さや、その設定の重要性を再認識した。

<引継ぎ・アドバイス>

集中して話を聞いてください。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 会社説明 新聞の切り抜き

<感想コメント>

会社の内容がよく理解できた。切り抜きの仕事も集中してできた。アントレプレナーも様々な視点からの考え方を学ぶことができ、勉強になった。

<引継ぎ・アドバイス>

予想していた仕事内容より、気が重くなってしまうこともなく参加しやすかったのも、楽な気持ちで参加すればいいと思いました。今後の色々な場面で役に立てることができると感じました。

<勤務時間> 9:30~14:45

<仕事内容> 新聞切り抜き、データ入力

<感想コメント>

入る時間が短かったので次回からは、様々な人と直接コミュニケーションをとりたいと思う。

<引継ぎ・アドバイス>

一つの社会勉強として、自分から積極的に取り組むことでいい経験になると思う。

<勤務時間> 9:30~14:45

<仕事内容> 新聞の切り抜き、会社説明、Excel、アントレプレナー

<感想コメント>

働く時の意識によって『仕事』にもなるし、『作業』にもなる。仕事を生活、人生の一部として捉え、自己の成長につなげたい。

<引継ぎ・アドバイス>

真剣に考えてやってみる。直接関係ないこともいろいろつながっていると気付く。

<勤務時間> 12:45~14:25

<仕事内容> 受付

<感想コメント>

受付の仕事についたが、一度も電話はならず、物足りない感じがした。他にはデータ入力や、パンフレットの訂正などの仕事をした。昼なので、来客数が少なかった。

<引継ぎ・アドバイス>

ネームランドを使用できるようになっておけば有効に活用できると思う。

<勤務時間> 12:45~14:25

<仕事内容> 受付

<感想コメント>

データ入力は、入力した人と別の人がチェックするなど、正しく入力することが大切である。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 15:30~20:30

<仕事内容> 受付 雑務

<感想コメント>

電話の対応、インターネットの受付のプリントアウトなどをした。職員の方々に進路の相談も受けていただいた。

<引継ぎ・アドバイス>

このビルの11階に無料で面接の受け方や筆記試験についての相談を受け付けている所があるそうです。

<勤務時間> 15:30~20:30

<仕事内容> 受付

<感想コメント>

受付は電話の対応はできなかったが、相談者のリストの入力などの作業をいくつかさせてもらった。細かい作業だったが、大変責任感を感じた。また、アドバイザーの出雲さんと面談させてもらった。面談では「5W2H」についての話を聞かせていただ

き、とても勉強になった。

<引継ぎ・アドバイス>

せっかくの機会なので職員の方に色々な話を聞かせてもらって下さい。

11月18日 木曜日

<勤務時間> 13:30~20:30

<仕事内容> 雑務、DO IT見学

<感想コメント>

一人だけだったので、その分充実した時間がおくれた。

<引継ぎ・アドバイス>

人数が少ないほうが色々学べると思います。

11月19日 金曜日

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 公開講座の準備

<感想コメント>

公開講座のデータ入力、確認、会場準備などをした。講座を見ることはできなかったが、実感がわいた。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 公開講座の準備

<感想コメント>

今日は公開講座の準備の資料をコピーしましたが20部と数が多く、最後の確認までの過程が大変でした。

<引継ぎ・アドバイス>

11月24日 水曜日

<勤務時間> 12:45~14:15

<仕事内容> ディスカッション

<感想コメント>

このインターンシップの報告会について話し合いをした。とりあえず、仕事別での発表を考えている。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~16:00

<仕事内容> プリントのコピー 新聞の切り抜き 広告の作成

<感想コメント>

大学生のときに起業なされた田中さんの話を聞くことができた。とても興味深く、面白かった。また、広告の作成では狭い範囲の中でインパクトを与える難しさを知った。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 12:45~14:15

<仕事内容> ディスカッション

<感想コメント>

報告会の形について話し合い、大体方向性が定まった。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~15:30

<仕事内容> 書類のコピー データ入力 広告の原案作り

<感想コメント>

企業家の田中さんの話を聞くことができた。また、新聞に載せる広告の原案を作ったが、狭いスペースに必要なことを載せるのは難しいことを実感した。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~17:00

<仕事内容> 書類のコピー データ入力 広告の原案作り

<感想コメント>

田中さんの話を聞くことができ、社長になることの魅力やたいへんさがわかった。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 12:45~14:15

<仕事内容> ディスカッション

<感想コメント>

報告会の進め方、方法について話し合った。各業務に分かれて、意見を発表する形に

したいと思う。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付、田中さんとのディスカッション

<感想コメント>

電話の言葉使いに気を使った。田中さんの話で、広い人間関係をうらやましく思った。

人付き合いは大事だと再認識した。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付、田中さんの話

<感想コメント>

今日は、今までの3日間の中でもっとも本当の仕事に近いことをやらせてもらえてと思う。田中さんは、実際に起業されていてとてもためになった。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> パワーポイント、プレゼン

<感想コメント>

難しかったけど、満足のいくプレゼンができてよかったと思います。NFCの田中さんの話は学ぶべきものがあつた。

引継ぎ・アドバイス

<勤務時間> 13:30~17:00

<仕事内容> 広告の作成

<感想コメント>

何を言いたいのか、どういった人を集めたらいいのか、そして、わかりやすくインパクトの強い物を作るという作業はとても難しいということを実感した。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 新聞の切り抜き

<感想コメント>

田中さんの話を聞いて、何事かをまず始めてみないといけないと思いました。やりたいことを仕事にし、それをやりぬこうとしている姿はとてまかつこよかったです。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> POWER POINTのアレンジ、プレゼンテーション、田中氏とのディスカッション

<感想コメント>

POWER POINTは良い作品ができた。田中氏の話は今後自分が何をしていくのか考えるきっかけになった。

引継ぎ・アドバイス

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 新聞の切り抜き、田中さんの話

<感想コメント>

田中さんの話がよかった。会社を立ち上げる面白さとやりがいと苦勞話が聞けてよかった。将来の役にしたい。

<引継ぎ・アドバイス>

## 11月25日 木曜日

<勤務時間> 13:30~20:30

<仕事内容> セミナー体験、受付、片付け、広告作成、雑務

<感想コメント>

時間がたつのが早かった。あまりやらない細かい仕事が多く、そういう仕事もいいなと思った。セミナーは大変役にたった。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 雇用・能力開発機構等についての話を聞く。

<感想コメント>

就職して、更に能力を磨きたいという人には、セミナー等を活用的に利用するべきだと思います。受講料も割と安くて、内容の深いセミナーばかりで、専門的なスキルを身につけたい人には、役立つと思いました。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~17:00

<仕事内容> 受付、雑務（セミナー準備、新聞広告の作成）

<感想コメント>

今日は、最後の出勤日ということで1日を通して目立った仕事は特にありませんでしたが、とても充実した1日でした。午前中は小国さんからこの創業サポートセンターの組織についての詳しい話を聞かせていただきました。未知の世界の話で、新鮮な情報を多く得ることができてとても役立つ話だと思いました。午後の新聞広告作りは直接業者の方とお話する機会もあり、初めてのことで戸惑いもありましたが、最後にいい仕事をさせていただけて、本当にありがとうございました。

<引継ぎ・アドバイス>

11月26日 金曜日

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付

<感想コメント>

今日でインターンシップは最後でしたが、ハローワークに行き求人届けを出す現場に同行させていただきました。ハローワークという場に行くのはもちろん初めてで、貴重な機会をいただきました。インターンシップでは何もかもが初めてで自分に勉強になる体験ができたと思います。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付

<感想コメント>

今回は、受付で3回ほど電話対応をしましたが、落ち着いて対応できたと思います。そして、西原さんにハローワークへ連れてって頂き良い経験になりました。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> ハローワークへの求人届け

<感想コメント>

ハローワークに初めて行った。待ち時間に他の人が相談されているのを後ろから観察していた。雇用保険のことでいろいろと質問されており、人を雇うということの責任、大変さを感じた。

<引継ぎ・アドバイス>

## 11月29日 月曜日

<勤務時間> 13:30~15:30

<仕事内容> 報告書の整理 (excel)、セミナーの準備、受付

<感想コメント>

受付に初めて入った。電話での対応は普段のアルバイトとは勝手が違い、とても緊張した。利用者のデータ入力のやり方は順番に教えていただいたのでやりやすかった。また、セミナーの準備では細かい部分への配慮が先生方や受講者の方の気持ちを快くさせることを教わった。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 13:30~17:00

<仕事内容> 受付、セミナーの準備、報告書の打ち込み、資料作成

<感想コメント>

今日はよく仕事をさせてもらいました。大変だったけどやりがいがありました。最後の30分くらいはセンター長と人生について語り合いました。就職の役に立てたいと思います。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 13:30~17:00

<仕事内容> 報告書のデータ整理、セミナー会場の準備、資料作成

<感想コメント>

今日は時間が長いこともあり、多くの仕事をした。特に、会場の準備は、ちょっとしたことだが、「裏側」が見られたのが良かった。あとセンター長と多くお話させて頂い



て、将来についての漠然とした考えが、少しだが固まった気がする。  
<引継ぎ・アドバイス>

### 11月30日 火曜日

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付、報告書データ(Excel)の作成

<感想コメント>

今日は作業が多く、いかに報告書データを分りやすく作成するかに頭を悩まされました。あと受け付け時に電話がかかってきたのですが、声が暗いと注意を受けました。アルバイト先でもよく言われる事なのでこれからは殊更声には気を配って意識的に直すよう心がけたいと思います。

<引継ぎ・アドバイス>

データ作成頑張ってください。18日のセミナーの感想の資料は、Sheet2に別に作成すると良いと思います。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付、報告書データ入力

<感想コメント>

インターンシップ最終日になってしまいました。実際にできた仕事はあまりなかったと思いますが、普段経験できないことがたくさんあった気がします。センターの職員さんとお話できたことで、働くことについてもう一度考える上でとてもためになったと思います。

<引継ぎ・アドバイス>

報告書のデータ入力が残っています。量もあるので頑張ってください。

<勤務時間> 9:30~12:45

<仕事内容> 受付、報告書入力、雑務

<感想コメント>

受付をしているとき、どこからの電話からはっきりと伝えることができず、自覚が足りなかったと思う。インターンシップ中にみなさんからお話を聞かせていただき、自分のなかでぼやけていた就職についての考えがはっきりとした。仕事の役に立つよりもかえって自分がサポートしてもらった。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 13:30~17:30

<仕事内容> 受付、報告書入力

<感想コメント>

初めて受け付けの業務に従事させていただいた。電話の対応にはアルバイトをとおして自信があったのだが、会社の電話対応ははるかに丁寧で、細かい常識があることを知った。お茶出し一つにしても礼儀・作法があり、非常に勉強になった。

<引継ぎ・アドバイス>

<勤務時間> 13:30~17:50

<仕事内容> 受付、報告書入力

<感想コメント>

今日は長時間インターンシップ報告書の入力をしていて、Excelをうまく使いこなすことができず、かなりの時間がかかってしまった。仕事は、正確さがとても重要だが、早さも求められることを改めて実感した。

<引継ぎ・アドバイス>

# 私たちの職業観

	入職にあたって	職業観(労働観)	セミナーを中心とした職業能力開発とは
	1. 不安	1. 自立	主に受講生の多くが、社会人で「プロ」だ。その点で、レベルの高いセミナーが必然受講生に起業のためのアドバイスをするだけではなく、受講生が持っている潜在能力を導きださなければならぬ、難しいセミナーだ。起業を目指している人だから金銭的、時間的にも余裕があまりない。その点でも無駄が許されない。しかし、セミナーのように知識を提供する機関は必要だ。起業においてのプロの話を聞き、そして発言することによって、起業というものより身近に、現実味をおびていくと思うからだ。そのような良い意味でのプレッシャーを与え、セミナーは起業を考えている人々にとって刺激になると思う。
	2. 自立する	2. 我慢	
	3. 責任が重くなる	3. 競争	
	4. 今までに経験したことのない未知なる世界へ行く	4. プレッシャーとの闘い	
	5. 自分のやりたいことをしたい	5. 最終的には楽しいものに変えたい	
	1. 自己分析をしっかりとし、自分という人間をよく知っておく	1. 夢を実現できる場として利用する	学生から見た仕事と、社会で実際に入ってからの仕事に対する考えは変わると思います。学生は実際に体で仕事を体験する機会が少ないのが原因だと思います。このギャップをできるだけ少なくするためにも学生のうちから会社に入って行く機会を増やしていくべきだと思います。誰もがやる気や意欲を持って入社するにもかわらず、三年以内でやめていく人の割合が多いのは、会社のイメージと実際のギャップが大きいからだと思います。勝ち組になるには、どうしたらいいのか…。それは、人間の本来持てる基盤の能力を磨きつつ、相手のことを理解し、信頼を得て、会社にとっての付加価値を見い出せる人
	2. やりたいことへの意欲・能力を高める	2. 社会に影響を与える	
	3. 色々な情報に惑わされず、自分の信念を貫く	3. 常に周囲から評価される	
	4. 将来を見据えたライフサイクルを考える	4. 家族を養うため、自分自身の生活維持	
	5. 一人前の大人(プロ)になるため	5. 自分から積極的に行動し、スキルをみがく	
	1. 就職は自分の生き方の問題になるので慎重に考えなければならない	1. 生活のために必要	現代の競争社会で生き残っていく、あるいは勝ち進んでいくには、現状で満足せず、常に向上心を持っていることが大切である。そのためには、自ら能動的に能力開発し、そのことを生かしていかなければならない。そうすることによって、精神的にも経済的にも、自分自身の人生を豊かなものにするのできるのではないかと
	2. その仕事が自分の興味ある仕事かということが一番大切	2. お金だけが目的でなく、意義が見出されるもの	
	3. 賃金、労働時間などの条件も生活のために重要	3. 仕事・家族に対する責任感	
	4. 企業の中身をもっと知ることができる情報が欲しい	4. 自分の能力、知識を生かせる	
	5. 自己分析ができていることが必須である	5. 自分のスキルを向上させることができる	
	1. どの業界、どの企業が自分に最も合っているかをマッチングする	1. 責任の増大	不況が続く今、リストラされないために、リストラされて新しい職業に就くために、また企業を起こすために、職業能力を高めることは、非常に重要であると思う。終身雇用がなくなった今、自分を守るのは自分自身の能力でしかない。
	2. 憧れと現実のギャップをなくす	2. 自立	
	3. 自己分析をする	3. 自分で得た、自分のための収入がある	
	4. 資格取得など、自分に対して付加価値化していかなければならない	4. 大変で、楽しくなさそう	
	5. 終身雇用の時代は終わったので、転職などの可能性も考えて自分がスキルアップできる職業	5. 通勤している姿が辛そう	

## 「インターンシップを通しての全体の感想」

僕にとって、インターンシップは初めての体験だった。しかも、その受け入れ先は普通の企業とは違う、独立行政法人。最初、雇用能力開発機構という名前を聞いたとき、どういう仕事をしているのか想像できなかった。とりあえず、普段の学生生活ではなかなか接点のない社会人と交流ができるし、これから始まる就活の為に社会人に慣れることができればいい、という思いだった。

雇用能力開発機構は、利益を追求する一般的な企業と違い、社会貢献を第一に考えて運営されている。しかも、取り扱うのは、起業のための情報であったり、企業のための情報であったり。また、雇用能力開発機構で働いている人達はその道のプロフェッショナルだし、お客さん側も人生を左右するような重要な相談を持ってやってくる。その特殊性のために、とまどうことも多かった。

今回のインターンシップでは、受付・データ打ち込み、講演や山田克明さんとのディスカッションなど、普段できない体験をさせてもらえたと思う。その中で、雇用能力開発機構の取り組みや、起業に関する多くのことを学ぶことができた。

個人的に、特に印象的だったのが、ニードフォーチェンジの田中さんの話だ。実際に起業した人と、しかもほとんど年齢が変わらない人と話せる機会なんてなかなかないと思う。田中さんの起業までの経緯や、経営に対する考え方はとても刺激になったし、何よりおもしろかった。十代から意識と責任を持って働き、勢いのある人の話だからおもしろいのだろうと思う。

起業する勇気を持つまでには至らなかったが、起業に大きな魅力を感じるようになった。社会的に見ても、新しい分野の事業やサービスを創出することは重要で有意義なことだと思う。今回のインターンシップで得た一番大きなものは、こういった起業に対する考えだ。これから始まる就職活動においても、少しだけ広くなった視野で見て、動いていけるのではないかと思う。

## インターンシップ報告書

私は今回のこのインターンシップに参加する上で、仕事をするということとはどのようなことなのか少しでも分かればよいなと思いました。このインターンシップを通じて「働く」ことがどういうことなのか明確にしたいと思いました。インターンシップは学生からの視点で仕事を見ることができ、そして体でビジネスを体験できる貴重な機会となりました。今回の経験がこれからの人生の自己成長の糧として活かしたいと思いました。

私が活動した内容はいったって簡単なものでありましたが、貴重な体験ができたと思っています。具体的な業務内容としては、受付の電話対応や機構が行うセミナーの会場設定をしたり、新聞の切り抜きといったことでした。その他には、実際に関西創業サポートセンターで働く人の生の話を聞くことができる機会が非常に多くありました。そして、実際にベンチャー企業を立ち上げた方の話を聞く機会や学生の視点からの職業観について意見をもち合うグループディスカッションをする機会もあり非常に充実した時間を過ごすことが出来たと実感しています。関西創業サポートセンターで働く方々は、皆さん仕事に対してまじめで、やはり学生には見えない視点から物事を考えていました。

今回のインターンシップに参加できて、一番の収穫は実際に働いている社会人の方の様々な価値観や労働観を聞き、それらを自分の価値観、労働観を確立する材料にできたことでした。仕事をするということは、それなりに社会からの責任感を負うことであり、社会から期待もされ、社会に貢献しなければならず、自分のやりがいを見出せる仕事選びをしないといけないと思ったし、何より楽しい仕事選びをしないと続かないと思いました。そして、会社からの報酬を貰う以上、その報酬以上の高付加価値を見出せる人材になればいけないと思いました。

関西創業サポートセンターでは、上で述べたような気持ちを抱いて、日々スキルアップを目指す人たちを支援するためにセミナーを開講しており、とても重要だと思いました。そしてセミナーの受講料金が安いことも魅力的でした。更には独立したい方の相談を一生懸命に聞き、支援されていることに感動しました。実際に成功されている方も大勢いて機構の重要性を実感しました。

## インターンシップを終えて

たった 4 回であったがインターンシップに入らせていただいて「働く」ということを考え直す機会を持てた。実際に私がさせていただいた仕事は主に電話対応、来客対応である。講演のない日に勤務であったため日常業務が中心となった。細々とした業務は一見簡単そうに見えてしまうが、正確に効率よく行うには意識的に動かなければいけない。この作業は何のために行っているのかを考えて進めないといけないと感じた。意識的に動く事によって、自分から何か仕事を見つけていこうと考えた。

ここの仕事は起業をしたいと考える人へのサービスを行うことにあるのだと思う。アドバイザーの方たちは実際に直接一対一で相談を受けている。職員の方々は講演会の設定や実施などを行っている。私が関わらせていただいた仕事は、センターに来られる方の起業に対しての直接的な支援ではない。電話での講演受付や来客の対応は、これらの人にセンターの1つのイメージを与えてしまうと思う。センター長がおっしゃっていたが、このセンターに相談に来られる人はそれなりに不安や悩みを抱えている。そういう方たちがここに来て創業に対して暗い印象を持ってしまっはいけない。

初めてセンターに行った時受けた印象はとても温かい感じがした。私の初出勤はインターンシップ全体の初日で、さらに1人であったためとても緊張していた。会社という所は堅苦しくトゲトゲしているものだと思って構えていたが、センターの皆さんに会ってすっかり安心した。緊張して何を言っているのかわからないまま話した事も真剣に聞いて下さった。今考えるとこの雰囲気はセンターの皆さんの意識から生まれているものだと思う。人のサポートをするということを常に意識し働いていच्छるからこそ創り出せる雰囲気だろう。単に決められた仕事を淡々とこなしていくだけでは生まれぬはずだ。

目的意識をもって仕事に取り組んでいくことは自分自身のやりがいにつながり、また他人から見れば信頼をおける存在になるだろう。支援センターに限らず企業活動は人と人のやり取りである。信頼できる相手であることはコミュニケーションを築く前提となり得るだろう。単に作業を行うのではなく、意識的に「働く」ことが仕事をするということなだろう。

形に残せた物は無いが、今回のインターンシップでの経験は「働く」ことがとても魅力的に思えるようになった。就職活動を少し始めたこの時期にインターンシップに入らせていただき、現場の生の声を聞かせていただけたことは大きな収穫でした。ありがとうございました。

## 関西創業サポートセンターでのインターンシップを経験して

今回、関西創業サポートセンターでのインターンシップに参加するにあたり、当初、私が立てた課題は、社会人としてのマナーと意識を高めることである。この目標を立てた理由は、事前にインターンシップの説明会が行なわれた時に、受付の仕事が主であることをしり、社会人としての電話応対等のマナーをほとんど知らない自分を改善できると思ったからである。そして、実際、受付の仕事をさせていただくことになり、特に難しいと感じたのが上座・下座に関するマナーである。このことを実感したのが、インターンシップ初日に行なわれていた会議にお茶を出しに行くという仕事を任された時であった。会議室に入ったとたんすぐく緊迫した空気を感じ、どこからお茶を置いていってよいのかもわからず、「これでいいのか」と心配しながらお茶を出したことを覚えている。結果は、一番大切な上座を後回しにしてしまった。部屋やそこに座る人によって上座・下座が変化することを教えていただいた。電話応対では、合計で5回ほど電話に出たが、そのうち2回は、誰からの電話かを聞かないままつなげてしまったり、どこからかの電話を忘れてしまったりと自覚が足りなかったと思う。この課題を立てたが、まだまだ経験が必要だと感じた。

受付以外にした主な仕事にパワーポイントを使用した関西創業サポートセンターの業務内容等のプレゼンテーションの作成と実際に作成したものを使って久富センター長へプレゼンテーションをしたことである。当初、マナーを身に着けるという課題を立てたが、実際仕事をしてみてこの仕事が一番楽しかった。この時、どうしたら説明しやすくなるかということを目標に、パワーポイントのスライドに動きをつけたり、スライドの順番を変えたりしていった。この時、感じたのがプレゼンテーションをするには、その会社のことを熟知しておく必要があることである。このことは、会議等でプレゼンテーションをするということだけでなく、営業職にも通じることであると感じた。「営業職は、一步会社の外に出たら社長の代わりであり、誰も頼るものがない、自分で解決していかなければならない。この時必要になってくるのが製造工程等の情報を知っていることだ。」とアドバイザーの久保菌さんに教えていただき、プレゼンテーションも営業も会社のことをよく知り、様々な情報を持っていることが大切であることを感じた。

そして、このインターンシップで一番得たことが多かったと思うことは、久富センター長をはじめ、みなさんからお話を聞かせていただいたことであり、自分の中でぼやけていた就職のことがはっきりしたと思う。「自分のしたいことを追及することと生活のために仕事をするもののバランスの重要性と難しさ」「創業も就職もしっかりとした意識が大切であること」など就職についてのアドバイスをさせていただき、この事とインターンシップでした仕事を就職そして、その後の仕事生活にも活かしていこうと思う。

## インターンシップを通しての全体の感想

組織へのインターンシップ。関西創業サポートセンターは、一般の企業とは違って利益を得ることを目的としないために、仕事の役割を理解することが大変だった。人が起業し成功するために、という奉仕的だがボランティアではない仕事を体験することによって新たな仕事に対する価値観を見出し、今後の就職活動につなげたい。

私は少なからずアルバイトなどで働くということを経験していたが、取り扱うものは商品であって人ではなかった。私が勧めた商品をお客が購入してもその人の人生がかわることはない。しかし、関西創業サポートセンターに来る人は主に、今までの仕事をやめて新しく起業を目指し、第二の人生を真剣に考えているため、その人の人生に関西創業サポートセンターが直接関わると言えるだろう。商品などを通さずに、人と直接向かい合う仕事の中身を知った。

働くという仕事観について以前は自分のしたいこと、好きなことを仕事にして働くという漠然とした目標があった。しかし、就職活動を目前に控え、真剣に仕事、働くということについて考えると自分がしたい仕事と、合っている仕事は違うかもしれないと思った。向いている仕事を見つけるためには様々な仕事を経験しなければならない。けれど私は学校という狭い領域でしか生活していないため仕事を経験したことがないに等しい。新聞社のインターンシップに参加させてもらう機会があり、関西創業サポートセンターで二回目のインターンシップだが、世の中には数え切れないほどの仕事がある中の二つにすぎない。すべての仕事を経験したうえで自分に合った仕事を見つけることが理想だが、それは不可能だ。だからいくつかの仕事を経験し、その経験を踏まえて、したい仕事とも照らし合わせ自分の将来の仕事を見つけていきたい。

関西創業サポートセンターではニーズに答える仕事を学んだ。アドバイザーが一对一で相談者と話すことによって多数にニーズではなく一人一人のニーズに答えていると感じた。個別に相談をし、アドバイスをしてもらうという環境は個人が重要視されている現代、貴重なものだと感じた。

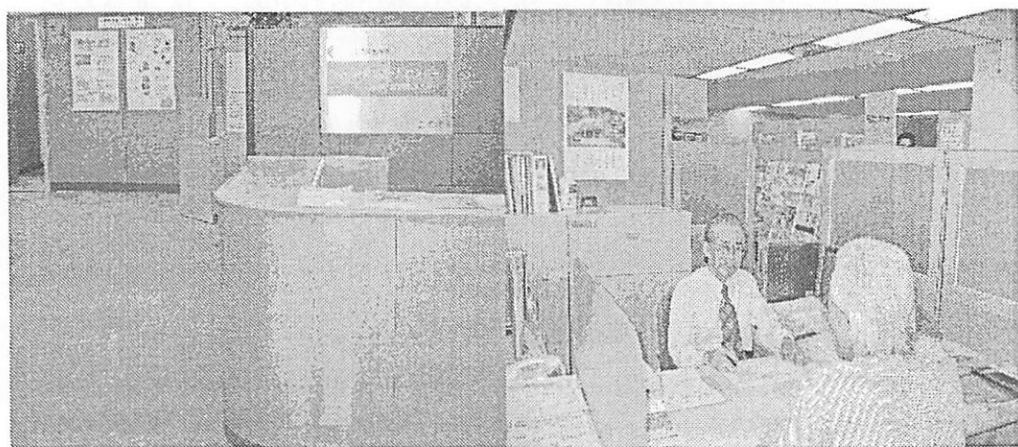
会社に就くということよりも会社を起こすという新たな方向を見ることができ、仕事に対する考えが柔軟になった。関西創業サポートセンターのインターンシップを生かし、仕事というものを様々な視点から見ていきたい。

関西大学社会学部産業社会学専攻



相手にアドバイスするだけでなく、相手の長所を見出すなどしてモチベーションを高めることも必要だと感じた。

自分で会社を起すことをサポートするために間違いは許されず、アドバイザーには相当な知識が必要だ。 そのような知識を備えているアドバイザーへ気軽に相談できる環境



## 「インターンシップを通しての全体の感想」

私は、11月16日、17日、30日の3日間にわたって、インターンシップに行かせてもらいました。就職活動を始めたばかりの私は、社会に出て組織の中で働くということに漠然とした不安を感じていました。そこで、インターンシップの課題を、私は様々な仕事やたくさんの職員の方々に触れ、社会に出て働くにあたり、自分は何をすることが必要なのかを見つけるということにしました。そして、就職活動に今回のインターンシップでの経験を生かしていけるようにしたいと考えていました。

実際に働いてみて、私は関西創業サポートセンターの紹介のパワーポイント作成とそれを使ってプレゼンをしたことがとても印象に残っています。センター長を前にプレゼンをしたのですが、いろいろな細かい点について質問をされると、ほとんど答えることができませんでした。私は、インターンシップに行くにあたり、関西創業サポートセンターや創業について何も勉強していなかったことに気づきました。そこで、これからどのような業界で、どのような職種で働くかはまだよくわかりませんが、自分の働く業界や、その企業が扱っている商品やサービスなど、様々なことについて知識を増やしていくことが重要なことを知りました。自分の働いている企業について、勉強不足だと、企業を紹介するという基本的なプレゼンさえもうまくできません。また、ある企業で働き始めると、周りの人から見れば私はその道のプロです。社会に出て責任を持って働く第一歩として、まず自分の働きたい職種、その企業について、就職活動の時期だけに限らず、常に勉強を進めていかなければならないことをこのインターンシップで学ばせてもらいました。

また、私は就職活動において一般職・事務職も考えています。しかし、これらの職種は、与えられた仕事をするもので、どのような業界にいても同じだろうと簡単に考えているところがありました。しかし、今回のインターンシップで電話の対応やデータ入力などの細かい仕事までやらせてもらい、これらは自分の工夫しだいでいくらでも変えられるもので、どんな小さな仕事でも責任は大きいことを改めて感じました。特に電話の対応は、かけてくる人にとってはこの対応が企業のイメージになり、またきちんと電話の内容などを把握していないと一緒に働く人たちにも迷惑をかけてしまいます。どんな職種についたとしても、社会に出て働くには責任があり、やはりその職種や企業について学ぶことが必要だと思いました。また、与えられた仕事でも、自分のやり方しだいでいくらでも自分なりの仕事を進めていけるのだと思いました。一般職・事務職を考えているにもかかわらず、どの業界でも同じだろうと考えていた私の仕事観を大きく変えることができたと思います。

今回のインターンシップでは職員の方々にとても親切にいただき、とてもよい経験ができました。これから、実際に社会に出て働くにあたり、ここで感じた気持ちを忘れずに自分の仕事に誇りをもって進めていけるようにしたいです。

## インターンシップを通しての感想

私は今回のインターンシップについての話を聞いたとき、最初はあまり興味が沸かなかった。というのも、自分たちの知識を深めるためのレポート作成や、文献研究というものをもっとやるべきことが他にあるのではないかとそのときは感じたし、これを課した大西先生の意図がよくわからなかった。しかし、今では実際に関西創業サポートセンターで様々な作業をさせていただいた中で、先生がこの活動を通して我々に何を伝えたかったのかが何となくではあるがわかったような気がする。

私が参加したのは2日間だけと時間的に少なく、担当させて頂いた仕事自体は限られたものであったが、その時間の中で得られたものは非常に大きなものだった。今回のインターンシップに参加する前までは「自分から積極的に動く」ということを課題として念頭においていたのだが、様々な作業をしていく中で得られたもうひとつの課題が「常に仕事の先にいる相手のことを考えながら仕事を行う」ということである。これは就職して以降だけの話ではなく、今アルバイトをしている自分自身にも当てはまる課題である。仕事を進めていくとどうしても内容ばかりに気をとられてしまい、先にいる相手が見えなくなることがある。しかし一つ一つの仕事には常にその成果を必要としている相手が存在し、その人々を考えながら行うことの大切さを今回の体験で知ることができた。

参加した2日間では、仕事以外にもセンターの職員の方々の話や、大学時代に起業された田中氏の話も伺うことができ、とても興味深く、また今後の自分にとって非常に参考になった。それまで漠然としていた私の中にあつた仕事に対する考え方というのも、その話を聞く中で少しではあるがはっきりとしたので、中での仕事に携わる以上に貴重な経験をさせていただいたと思う。

最近の就職難の時代においては、どうしてもまず就職することを優先し、自分の本当にやりたい仕事が二の次になってしまうことが多くなっている。しかし、私達が今回参加させていただいた中でも、起業を目指して相談に来られている方がたくさんおられ、その人達を見ていると必ずしも選択肢は既存のものだけではないということを認識することができた。今回得られた経験を踏まえて、自分のやりたいこと、そしてその上で必要なことは何かをさらに熟考し、将来の人生設計に役立てたいと思う。

## 「インターンシップを通しての感想」

### ○インターンシップをする上での課題

初の社会参加なので、やはりアルバイトとは全く勝手が違う。仕事内容は、事前に配られた資料と職員の方々の説明で大まかには把握していたので、とりあえず職場に入ったら物怖じせず挨拶をしようとは決めていた。あと、実際に社会に出て働いている人の話を聞くことができるのは滅多に無い機会なので、「働く」ということについて分からない事はどんどん質問しようと思い、実際職員の方々から様々なお話を聞くことができた。

### ○インターンシップで何を学んだか

今回は創業者の人達を対象にしたセンターということもあり、「働く」ということだけではなく、「会社を興す」ということ、そのプロセスを学ぶことが出来た。もし、この先自分の将来に迷い創業してみたいという考えが浮かんだら、まずこのようなセンターを利用して具体的な相談に乗ってもらいたい。このようなセンターの存在を知ることで、私達の将来の選択肢はますます広がったと思う。センター内の資料・ビデオは自由に閲覧できたので、興味のある職業をより深く調べることが出来、知識も深まった。個人的には朝早いシフトに入ったことで、社会人に付き物の「早起き」が出来たのだろうかという不安もますます広がったことは否めない。

### ○雇用能力開発機構に対する思い

社会不安、政治不信の風潮がある現在に、失業率の低下と共に、さらなる「創業」というリスクの高い社会参加を促し、サポートするというこのセンターの役割は極めて重要だと思う。私は仕事に「やりがい」を求めるので、この個人の「やりがい」、そして同時にその個人が持つ「夢」を実現させてくれる役割の一角をこのセンターは担ってくれていると思う。また、授業の一貫として「わたしのしごと館」にも行ったが、子供たちに早くから「しごと」について学ばせるのはいい機会であるし、設備の充実も素晴らしかった。このような試みは続けるべきだと思う。

### ○インターンシップ前と後での仕事観の変化

特に変化はない。学生時代の甘えは一切許される場所ではないこと。これから内面的な成長を心がけなければ、ついて行くことすら困難な世界。仕事をする場所とはそういう場所だ。これから始まる就職活動に向けて、このインターンシップは自分を戒める良いきっかけになったと感じている。

## インターンシップを通しての全体の感想

創業サポートセンターでのインターンシップ活動は、私にとって非常に実り多いものとなった。これから将来の自分を真剣に考えていくにあたって、この経験が一つの大きな転機となったからである。私はこのインターンシップを、企業研究の一環として考えてきた。「雇用能力開発機構という組織について、企業研究という意味も含めて知っていくこと」。これが私のインターンシップの課題だった。というのも、この創業サポートセンターという組織自体、これまでの私には未知の世界だったからだ。そして、インターンシップとして働かせていただいたのは週に一、二度でわずか4日間であったが、1日1日が非常に濃密で、このセンターに来る度に、これまでの考え方やものの見方が少しずつ変わっていき、自分の正直な気持ちに気づくことができた。

インターンシップ全体を通して、受付・雑務を中心に様々な経験をさせていただいたが、中でも「新聞広告の作成」という仕事を最終日に任せていただいたときには、驚きや戸惑いとともに、責任感、そして大きなやりがいを感じる事ができた。この仕事は、大変面白みを感じた反面、非常に難しく、この組織での4日間が試される仕事だったように思える。「新聞の広告欄というあの小さなスペースに、必要な情報をいかにわかりやすく宣伝するか」。未熟ながらも、この会社での経験を通じて得ることのできた知識や感覚を思い出しながら、頭をフル回転させて必死に取り組んだ。しかし、ここである失敗をしてしまった。この仕事と並行して、セミナーのパンフレット作りもさせていただいたのだが、少し気の緩みが出たのか、部数を間違えて作ってしまったのである。この失敗は私にとって、最後にして最も反省すべきこととなった。

「どんな仕事に対しても、必ず『違う目から』確認をすること」。これが私のインターンシップ経験の中で実感として得ることのできた、最も大きなことである。どんな些細な仕事にも責任があり、ふとしたミスが、その先の大きな仕事にまで影響してくるのだということを、私は失敗を通して実感し、これから社会に出ていく中で自分が心掛けていくべきことの一つとして、学ぶことができた。

最後になったが、創業サポートセンターの方々には本当に心から感謝したいと思う。久富センター長、松原センター長代理を始め、私の些細な相談にも快く請け合ってくれたアドバイザーの久保菌さん、貴重な話を聞かせてくださった出雲さん、創業サポートセンターについての詳しい話を最後まで聞かせてくださった小国さん、受付の仕事を本当に丁寧に教えてくださった塩見さん、坪井さん、そして最初から最後まで私たちを細かくサポートしてくださった西原さんに、私は感謝、感謝の気持ちでいっぱいである。

「センターの方々のおかげで、これから社会に出ていく心構えができ、そして自分の本当に望む働き方を見つけていくためには、それ相応の準備と、あとは自信と度胸が必要なのだということ」を深く学ばせていただきました。本当にありがとうございました！！

この創業サポートセンターでの経験をフルに生かして、残りの大学生活を、将来に向けての準備期間として、有意義な一年間にしていきたいと願ってやまない。

## インターンシップを通しての全体の感想

### ・インターンシップをするうえでの個人の課題

私がインターンシップに行く前に思っていたことは実際の職場の雰囲気できるだけ身近に感じたいということだった。私たち三回生は今、就職活動に差し掛かったところで、働くということがより現実的になっている。周りの友人たちの中には自分のやりたいことを見つけ、その夢に向かって勉強している者、またそうでない者もいる。私は後者の人間であり、ただ間近に迫っている就職活動に漠然とした不安を感じていた。そこで私は今回のインターンシップで、せめて職場の雰囲気を身近に感じることで就職ということを自分の中で現実的なこととして受け入れようと思った。

### ・インターンシップで何を得たか？

前述したように私はこのインターンシップで職場の雰囲気をより身近に感じたいと思っていた。私は合計で三回、関西創業サポートセンターの皆さんにお世話になった。一回目では主に午後からの会議の準備の手伝いをさせていただいた。そこで、私は会議の際の席順にもセンターの方が気を使っていることを学んだ。他にもお客さんが来た時に閲覧する新聞の切り抜き作業をおこなった。この作業ではどのような記事を切り抜けばよいか悩んだが、以前の資料などを参考にして、自分なりに考えて作業を行えたように思う。また、切り抜き作業の間にアドバイザーの方から業務の説明や、夜間を実施しているセミナーのことについての説明を受けた。二回目では仕事という仕事はあまり無かったが、アントレプレナーの受講者のデータ入力の方法を教わり、残りの時間は過去のセミナーのビデオを見せていただき、産学連携についての理解を深めることができた。三回目では初めて受付の業務についた。私が今、行っているバイトでも受付に入ることはあったが、そこでは自分のすべきことを理解したうえでお客さんに向かって、電話の応対も行うので、あまり緊張することは無いが、今回の受付の業務では久しぶりにバイトを始めたころの緊張感を感じることができ、受付という仕事の重要性を感じることもできた。また夜に行うセミナーの準備では受講者や講師の方に快くセミナーを行ってもらうための気配りを学んだ。準備では机の並べ方から、ホワイトボードの清掃など自分だと気づかないような箇所まで気配りを行うことが大事だと思った。

## インターンシップを通しての全体の感想

僕は、今回のインターンシップで、受付業務、新聞の切り抜き、田中克明さんとのディスカッションをさせていただきました。僕は社会人として恥ずかしくない行動をとるということを個人の課題としました。一番この課題を意識したのは、受付業務でした。関西創業サポートセンターの方からマニュアルを教えてもらい、それから実際に、業務にはいりました。この時点ではマニュアルがあるので大丈夫だと考えていましたが、いざ、電話の受付、来客者の方が来られた時の対応をするときになると緊張のせいかマニュアルを忘れて変な日本語になってしまったりと十分な仕事ができたと考えると少し残念な結果となってしまいました。

しかし、関西創業サポートセンターの方の、『働く時の意識によって、仕事にもなるし、作業にもなる。』という話や、田中克明さんのように『ニードフォーチェンジには夢があります。言葉や場所が違うからできない時間やお金がないからできないではなく会いたいから知りたいからという理由だけで世界中の人々がつながることのできるそんな社会にニードフォーチェンジがあること。こんな夢をニードフォーチェンジは持っています。』というようにビジョンをもち、それに向かって働くこと。『すっごくニッチでとっても楽しくてごっつい楽でむっちゃ儲ける』という生き方の考えとも感じられる目標をそのまま仕事でも実行されていること。など仕事、働く、ということに対する意識の持ち方を学ぶことができたと思います。

今回のインターンシップは就職活動をこれから始める自分にとって大変有意義だったと感じました。関西創業サポートセンターの方々には、大変迷惑をかけましたが、インターンシップができたことにより、自分の仕事観、生き方に役立つことを体験したり、聞くことができました。今回のことを忘れずに、常に意識して、無駄にしないようにしようと思います。ありがとうございました。

## 「インターンシップを通しての全体の感想」

インターンシップをするうえで私が課題にしていたことは、社会に出て会社で働くとはどういうことなのかを、実際に体験してみて学ぶことでした。今回のように会社に参加させていただくのは初めてだったので、最初は何も分からない状態でした。しかし、いろいろな仕事に参加させていただきながら、少しずつ職場の雰囲気を感じることができました。センターの方々の働いている様子を見てみると、それぞれの仕事に対してしっかりと責任をもって取り組んでいらっしゃると思うと強く感じました。

社会に出て働くということは、自分に何らかの役割が与えられ、それと同時に自分にかかる責任が今までよりも重くなるのだと思います。だから、自分がすべきことはしっかりと責任をもって最後までやり遂げることが、例え当たり前のことだとしてもとても大切なことだと改めて思いました。

今回、私は受付での仕事や公開講座の準備などをさせていただきました。受付といっても、接客や電話対応や名簿の整理など多くの仕事がありました。電話はかけてくる方によって対応の仕方が違うので、電話一本とることも簡単なことではありませんでした。また、公開講座の資料をコピーして綴じるという仕事を任せましたが、これも大変な作業でした。きちんと枚数がそろっているかを全部確認して、綴じまでの過程一つ一つが大切なことだと感じると同時に、講座にくる方に対して、一枚でも資料の抜けがあったりミスがあってはいけないという責任を感じながら作業をしました。このようにいろいろな場面で、責任とはこういうことなのであるのだと実感しました。

今回のインターンシップでは、実際に働いている方々を見て、社会に出て働くということがどういうことなのかを少しは感じ取ることができたように思います。センターでの主な仕事は、講師やその講座に来られる人たちなどのためのサポートをすることであるとおっしゃっていましたが、本当にその通りであると思いました。細かい部分にまで気を配っていることを知り、感心させられることばかりでした。あのように起業に関していろいろとサポートしてくれるところがあり、それを利用して起業する人がいるという人と人とのつながりがあるのだと実感しました。インターンシップは短期間ではありましたが、多くのことを学びました。今回学んだことは、今後どのような会社で働くことになったとしても大切なことであると思います。



## 「インターンシップを通しての全体の感想」

私は、インターンシップをするうえで自分の課題を決めず、一回目のインターンシップを終えていました。ゼミに行っていなかったため、その会社がどのような経緯で設立し、何を目的として成り立っているのかも全く知りませんでした。その日は、水曜日の夕方で、セミナーもなく、比較的暇でした。主に、受付の仕事を担当させてもらいましたが、私は、何も考えずに言われたままに行動していました。午後になると、NPO を設立した相沢事務局長がいらっしゃいました。コピーのお手伝いをさせてもらいながら、NPO についてお話されました。授業で習った時は、言葉を覚えていただけで、実際はどんなものかあまり分かっていませんでした。

しかし、実際に自ら NPO を立ち上げた人のお話を聞き、NPO がどのようなものか、そして、どういった苦勞があるのか、授業で聞くよりすんなりと私の頭に入りました。そして、その日の終わりに、局長から「インターンシップに来た目的は？」と、質問されました。私は、言葉につまってしまい、とっさに笑顔でごまかしてしまいました。すると、局長は「次来た時に教えてください。」と、おっしゃいました。私は、その日の帰り道に、自分がインターンシップに来た目的は何であろうと考えていました。ゼミの一環だから、それだけであろうか。今日一日、インターンシップを体験して、関西創業センターの一員として働いて、何か感じなかつたらうか、考え直しました。私は、もうすぐ就職活動を控えているというのに、あまり企業に関心を向けておらず、社会にどんな職種の企業があるのかも把握できていませんでした。そのような時期に、インターンシップを通して、関西創業センターのような起業を考えている人の相談を請け負ったり、セミナーを開いたりする企業もあることを知り、もっと視野を広く持とうと思いました。社会には自分が知り得ない無数の企業が存在するのだから、きっと私に向いた職業もあるはずだと思いました。インターンシップを経験して、今までは想像できなかった、“企業で働く自分”に現実味を増し、以前より就職に意欲的になりました。

そして、次のインターンシップに向けて、就職した時の自分の姿を想像できるようになること、自分がしたいことを少しでも見つけるという課題を持ちました。二回目のインターンシップでは、広告の原案作りをさせてもらいました。伝えたいことがいっぱいありすぎて、いつも気にも留めなかった新聞の片隅の小さなスペースに、すべてを詰め込むのは困難でした。何を一番言いたいのか、そもそも人を集めたいのか、それとも会社を紹介したいのか、それを先に考えなくてはならないことに気がつき、試行錯誤を繰り返し、やっと出来たと思ったら、インパクトに欠けていて、結局そのまま提出しました。広告作りを体験して、広告作りの難しさ、そして“仕事のやりがい”を感じました。

インターンシップを体験して、今まで自分が感じたことのない思いを感じ、そして自分で“就職”について、じっくり考える機会を得ることができ、自分なりに成長できたと自信につながりました。それが今回一番得た中で大きなものだと思います。

## インターンシップを通しての全体の感想

私は関西創業サポートセンターで3日間インターンシップをさせて頂きました。正直言って関西創業サポートセンターに来るまでは、このような仕事があるなんて知りませんでした。なので、いったいどのような仕事内容なのか、どのような人たちが利用するのか全くわかりませんでした。このインターンシップでの私個人の課題としては、就職する前に社会に出て働くとはどういうことなのか、自分自身の仕事に対する考えを見つめ直すことにありました。

1日目は、受付業務を体験させて頂きました。まず一番初めに教わったことは、電話対応でした。当り前のことですが、電話対応では丁寧な言葉遣いが大切です。簡単そうに思えますが、電話を取り次ぐということにあまり慣れていないため、またこのような状況であればどう伝えればよいかなど、臨機応変な対応も必要となるため難しいと感じました。次にセミナー参加者の氏名、住所、職業などのデータをパソコンにセミナー別に入力していきました。他のデータについても同じですが、データは正確に入力しなければいけません。データを入力した人が見直しをすることは当然ですが、その後にもう一度別の人がチェックすることによって、間違いを防ぐことができると教わりました。

2日目は、関西創業サポートセンターのような組織で職業能力開発のセミナーを開く意義についてお話を聞かせて頂きました。社会に出ると常に周りから評価され、厳しい競争社会で生き残っていくためには自身の能力を向上させていく必要があるというお話が印象的でした。その後、自分たちで入職についてどのように感じているか、自身の職業観、労働観について考え、ディスカッションする時間をいただき、他の人の意見を聞き、それを踏まえて自分の職業観についても改めて考えることができたので大変良かったと思います。

3日目は、時間が少なかったこともあり、特に業務をすることはなく、社員の方にお話を聞いたり、自分たちで仕事に対する考え方の意見交換をしたりしました。実際に社会に出ている方にお話を聞けて、気軽に質問もできたので大変参考になりました。

このインターンシップ終えて、私は働くということについて考え直すことができ、またこれから自分は何をするべきか、時間をどのように使うべきか慎重に考えなければならぬと感じる事ができました。大変良い経験ができたと思います。

関西大学社会学部

初日はとても緊張した。スーツを着て満員電車に乗るということはめったにない経験で、そのような実際の仕事内容とは関係のないこともインターンシップでしか味わうことのできない経験だと感じた。

センターに到着し、緊張しながらも大きな声で挨拶をした。センターの方は皆、とても親切で、まだ何もできない私たちにも一つ一つ、丁寧に教えてくださった。私は早速受付に入り、電話対応の仕方など受付の仕事を一通り説明してもらった。しかし、ただ説明を聞いているのと実際に電話対応をすることは全く違ったもので、実際に電話がかかってきた時は、教えてもらったはずの内線のやり方なのに、とてもとまどってしまった。簡単そうに見える電話応対ひとつをとってみても「経験」ということがいかに必要なのか理解できた。また、受付の仕事では実際に公開講座やセミナーに参加申し込みされた方のデータを入力するという作業もやらせて頂いた。単にデータを入力するだけでなく、確認の電話をしたりファイルにまとめたり、公開講座やセミナーが開かれる前にたくさんの手順を踏んでいることを知った。受付をしていて大切だと感じたことはセミナーに来られた方々、またその他の来客者の方々に笑顔で挨拶するということだ。センターに入ってまず初めに受付を通るので受付の印象はとても大事だと思った。特に私もそうだったが、初めて来られた方は非常に緊張していることが多い。受付の対応の仕方ひとつで関西創業サポートセンターの印象が決まってしまうかもしれない。

インターンシップを進めていくうちに公開講座の準備をする機会を頂いた。仕事の内容として①看板の作成・設置②会場準備③講師の方のプロフィール作成④公開講座資料の準備・配置を一通りやらせて頂いた。看板を作成したり、プロフィールを作成したりするときは、power point や word, データ入力の際は excel を使い、現在、社会で働くにはどれほどコンピュータを使えることが重要なのか身を持って感じた。看板の設置場所もとても配慮されていて、ビルに入ってすぐ、エレベーターを降りてすぐなど初めてきた人でも迷いようがないように置かれていた。私が参加者として来ていたとしたら絶対に気づかないような些細な事まで気が配られていて、驚いた。関西創業サポートセンターがメインとして行っている公開講座やセミナーは時間の関係で実際に聞くことは出来なかったが、こうして会場や資料の準備をさせて頂くことで実感がわいた。

インターンシップでは全てが初めての経験だった。テレビドラマでしか見たことのない内線の方法、コーヒーを職員の方々に入れたがこれも初めての経験だった。仕事とは関係のない簡単なことだと思っていたが、そのようなことも大事な仕事であり、決して簡単なことではなかった。まだまだ学ぶ余地は十分にあるが、実際にオフィスで働くということを通してたくさんのことを学べたと思う。これから就職活動を進めるにあたり、今回の経験を十分に生かしていきたい。

## 【インターンシップを通して】

インターンシップを通して、私は受付、セミナーの準備、セミナー参加者の管理、そして、広告などを綴じたりする雑務などをさせていただいた。

まず、受付に関してだが、普段、私はアルバイトで電話による対応や、接客をしていて慣れていると思っていたのだが、やはりその仕事の内容を完全には把握していないこと、職員の名前とその担当の仕事がわからないこと、そして何よりいつもと全く違った環境に置かれていることから、おぼつかない対応になってしまった。特に相手が見えない電話での対応は難しく、食事に出ていて、その場にはいない職員に電話を取りつごうとしてしまうなどのミスをしてしまった。

また、セミナーの準備に関して、机を並べたり、掃除をしたりしたのだが、普段、私達が気づかないようなところまでしっかり気を配っていたことに驚いた。何気なく参加していた今までのセミナーなども、こういう始まる前からスタッフの方々の配慮によって円滑に進んでいるのだと感心させられた。

セミナー参加者の管理は、エクセルを使ってPCで管理していたので、打ち込む作業を教えてもらった。また、広告は、二枚の広告をホッチキスで綴じて、見る人に多くのことを知ってもらえるようにするものだった。

インターンシップに参加させていただいて、これまで見えなかったものが見えてきた気がする。今まであまり気にしていなかった、“準備”という作業がいかに重要かということがわかったし、何事もこれによりスムーズにことが運べる、ということを実感させられた。表に出る仕事や、裏方の仕事もあるが、全員が一つのことに向かって力を合わせて、組織は成り立っているのだとわかった。また、普段やりなれているようなことでも、環境が少し変わればこれだけ難しくなるということもわかった。サークルでも3年目、アルバイトでも4年目になりそれぞれの環境に慣れてきてしまっていたが、ここで思い出したフレッシュな気持ちを忘れずに、今後活かしていきたい。

## インターンシップを通して

私がインターンシップをする上で課題にしていたことは、やはり、社会人というものほどのようなものなのかを知ることでした。雑誌やテレビなどで感じるイメージと実際とではどう違うのか、そこに注目してこのインターンシップに望みました。私がインターンシップに行ったときは幸運にも、特別にニードフォーチェンジの取締役の田中克明さんのお話を聴くことができました。田中さんは大学在学中に事業を起こし、見事に成功された方です。今の会社の一番の仕事は出版物などの翻訳だそうです。その事業を始めたきっかけが、学生時代に英語の教科書を代わりに全訳して小遣いを稼いだことに始まるそうです。それを聞いて私は大変驚きました。なぜかというと、そんな学生時代の簡単なアルバイトを本職にしてしまったからです。私は本当にいろんなところにビジネスチャンスが転がっているんだなぁと感心しました。そのほかにも、日本語では申し込みが不可能な海外の格安航空チケットの手配の代行や通訳の派遣などグローバルなビジネス展開をしています。話を聴いて一番強く感じたことは、子供の遊び心を忘れたら何事もうまくいかないんだなぁと思いました。田中さんは面倒くさい仕事はしたくないとか利益が7割以上ない仕事はしないとか子供みたいなことばかり言っていました。しかし、しっかりとした経営理念を持ち、夢の実現のために最善を尽くしているという話から、母親にどうにかして自分のわがままを通そうとしている子供のように感じました。私も将来、士業での独立を考えているのですごくためになる話でした。やはり経営や事業をする際に一番必要で大切なことは本人の強い意志とはっきりとした将来のビジョンなんだとあらためて確認できたインターンシップだったと思います。この経験を将来に役立てて自分も成功するんだという気にさせてくれる貴重な経験を私はできたと思います。

## 「インターンシップを通しての全体の感想」

私は3日間インターンさせていただいて、機構の方のあたたかさ、熱心に教えてくださる姿、機構の方の歓迎、などに触れることができ、とても嬉しかったし、いい経験になった。そして社会に出て働くことの難しさ、責任の重さ、そしてやり遂げたあとの充実感を少しではあるが感じられたことは貴重な体験だった。

私は3日間で受付、セミナーの準備、顧客情報のパソコン入力などをやらせてもらったが、どれも簡単そうに思えるが重要な仕事だった。受付での電話対応は自分のアルバイト先でもたまにやることはあるが環境が変わるとやはり難しかった。まずどういうところから電話をもらうことが多いなどという情報が全くないこと。そして相手先をきちんと機構の担当の方につなぐこと。私は対応したときに少しつまづいてしまい、お客様を待たせてしまった。しかしそれでセミナーの準備をする時にはセミナーが円滑に進むように気を抜かずにきっちり仕事をこなせたと思う。そして、たったこれだけのことを確実にやるのがどれだけ大切でどれだけ難しいことなのかがわかった。受付はコピーなどもやることが多く、雑用のようなイメージがあったが企業というものは大きなチームであり、基盤となっている仕事を支える大切な役割を果たしているのだということを考えさせられた。

社会に出てから学び取らなければならないことはたくさんあるだろう。それを今学生のうちで学ぶ事は貴重な経験になったと思う。アルバイトとは違う、経験と有意義な時間を過ごす事ができた。学生がひとつの会社という組織をじかに体験できる機会はそうそうあるものではないと思う。その中で貴重な体験ができ、この経験を生かすためにも就職活動等がんばっていききたい。しかし同時に、問題意識をもち続けることの難しさを知った。問題意識をもって臨むことは、あらゆる学習において大切なことであり、この機会に今一度自分の考えを整理することが大切だと思った。

## インターンシップ期間中の作成資料他

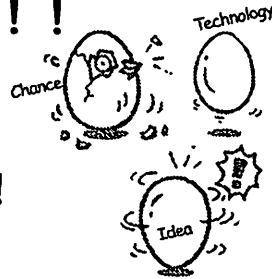
- 1 「関西創業サポートセンター業務説明プレゼン資料」
- 2 「関西創業サポートセンター業務広報用資料」

## 関西創業サポートセンター案内

創業したい ！

新たな事業を起こしたい ！！

あなたのチャレンジ  
サポートします！！



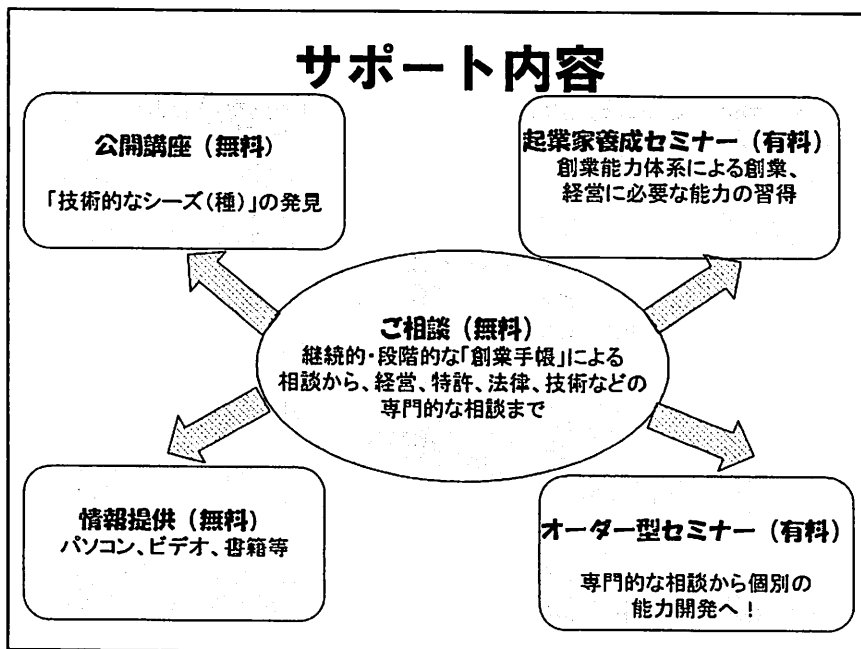
## 組織

- ・厚生労働省の施策として独立行政法人  
雇用・能力開発機構が運営する公的機関
- ・職業能力開発総合大学校(神奈川県)の  
エクステンション施設
- ・平成15年7月にオープン(開設2年目)
- ・全国2箇所(東京 田町と 大阪 堺筋本町)
- ・IM(インキュベーションマネージャー)2名を含  
めて4名のアドバイザーにて相談受付中

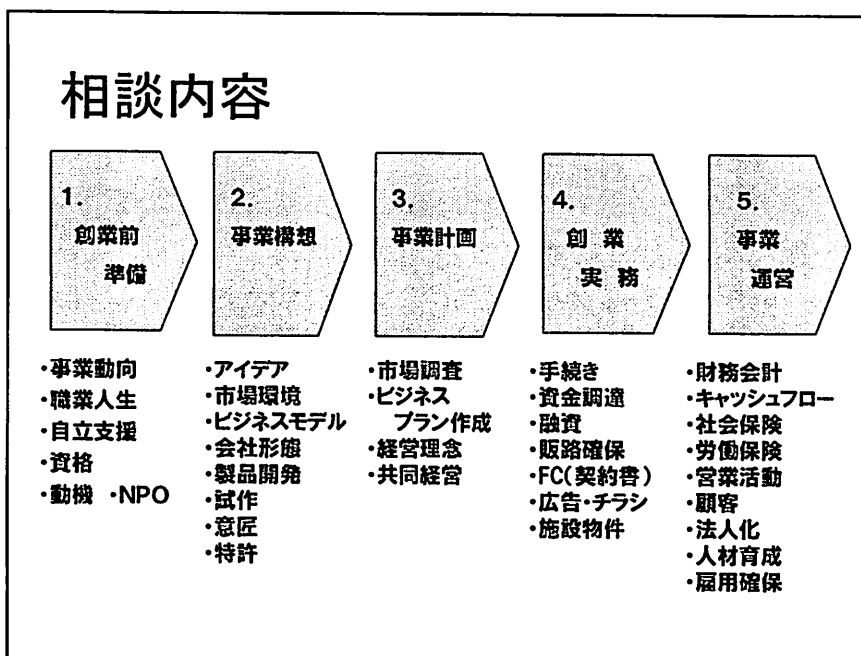




## サポート内容



## 相談内容



## 相談業種内訳

### Q サービス業

- ・民営職業紹介
- ・人材派遣業
- ・家事サービス・在宅ケア
- ・廃棄物処理業
- ・機械設計業・筆耕業
- ・コンサルタント業
- ・介護関連サービス
- ・画廊経営・出張美容
- ・音楽・イベント業
- ・ハウスクリーニング
- ・食材宅配仲介業

### O 教育・学習支援業

- ・学習塾・木工教室
- ・スポーツ施設・出版業
- ・手話・健康サロン

日本標準産業分類による

### J 卸売・小売業

- ・機械部品小売業
- ・健康器具小売業
- ・健康茶小売業
- ・身の回り品小売業
- ・写真サービス小売業
- ・ミニ量販店・FC

### M 飲食、宿泊業

- ・一般飲食店・FC

### N 医療、福祉業

- ・介護事業・整体業
- ・療術業(マッサージ)

### F 製造業

- ・機械器具・繊維開発
- ・リサイクル・電子部品製造
- ・装置製造・環境機器
- ・金属製品・成型品
- ・プラスチック製品
- ・子供服製造業

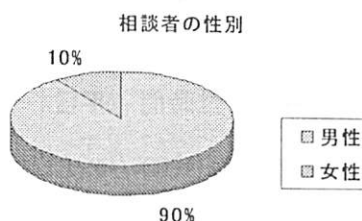
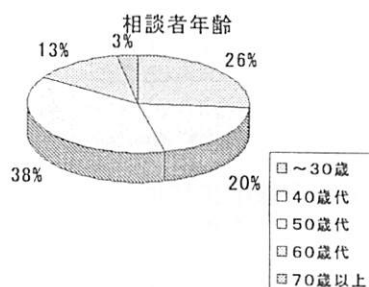
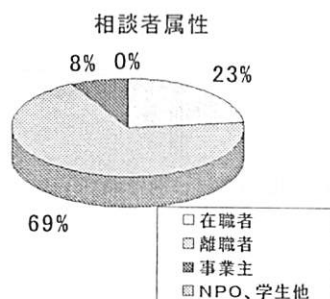
### H 情報通信業

- ・提供サービス業
- ・IT付随サービス

### E 建設業

- ・リフォーム、塗装業
- ・緑化・ビル管理
- ・園芸栽培

## 相談者の属性



## 創業者平均イメージ像



創業者数  
90名  
(04.9月末まで)



48.7歳

雇用創出数  
212名



## アクセス

- 地下鉄中央線堺筋本町駅下車  
④番出口よこ

地下鉄堺筋線

明治安田生命  
堺筋本町ビル

地下鉄中央線

- 相談受付時間 平日 (10:00~20:00)

<http://e-support.ehdo.go.jp/>

# 起業も新分野もここから

日程	講義内容	講師
12月10日	モーションコントロール技術で差別化を図ろう	島田 明
12月11日	社会起業家という働き方	高見 一夫

<関西創業サポートセンター> <http://e-support.ehdo.go.jp/>

講義料  
無料！！



起業のことなら関西創業サポートセンターへ

独立したい人、好きな仕事をしたい人、心に秘めたものを持っている人 etc



## あなたの起業を応援します！！

### 起業家養成セミナー

- 起業家のための財務実務
- 起業家のためのキャッシュフロー経営
- 経営革新のための研究開発の進め方
- 戦略的商品開発・マーケティング戦略

受講生募集中！

12月 無料講演会 (各2時間)

10日  
(金)

18時～

小型風車を用いた  
都市型風力発電の開発

11日  
(土)

14時～

社会企業家としての  
働き方

## 関西創業サポートセンター

〒541-0054 大阪市中央区南本町1-7-15 明治安田生命場筋本町ビル9階

お問合せ先 TEL06-6125-4690 <http://e-support.endo.go.jp/>

## 起業家養成セミナー 受講者募集!

平日の夜間ですので、お勤め帰りに参加できます。

### 起業家のためのキャッシュフロー経営

講師：三原公徳会計士事務所 三原 尚雄氏 (内容) キャッシュフロー計画を中心とする財務指標の見方を学び、理想的なキャッシュフロー経営の作成や、評価項目を行います。

前 期：1/11～19 (金・土・日を除く計6日)  
日 時：18時～20時 (計12時間)  
受講料：7,500円

### 社会起業家という働き方

講師：ワーク21企画代表 高見 一夫氏 (内容) 従来のビジネスや利社の狭間に在る社会的課題(社会的ニーズ)を語り起こし、その解決に積極に参画する働き方を紹介します。

前 期：12/11(土) 14時～16時(2回席)  
日 時：12/11(土) 14時～16時(2回席)  
参加費：無料

※ほかにも創業に関するさまざまなセミナーを実施しています。※「創業準備」をお渡しし、創業に関する一般的な知識から、経営・法律・技術等の専門的な相談を無料で行っています。

**関西創業サポートセンター**

〒541-0054 大阪市中央区南本町1-7-15 明治安田生命場筋本町ビル9階  
地下鉄東区筋線本町1駅下車 9号出口すぐ

お問合せ先 TEL06-6125-4690 FAX06-6267-4827  
E-mail: kansai\_e-support@nifty.com URL: <http://e-support.ehdo.go.jp/>

営業時間 平日の10:00-20:00

## ～ 報告会の流れ ～

### 1) 挨拶

(関西創業サポートセンター 久富センター長)

### 2) インターンシップ受け入れに当たって

### 3) 大西ゼミの対応

① 昨年の流れと今年の試み

(大西教授)

② インターンシップ報告 (約1時間)

(大西ゼミ学生)

### 4) 質疑応答

～\*

## <インターンシップ報告>

大西ゼミ 3 回生

- ・ 仕事内容別に 4 グループに分けて発表
- ・ 各グループ 15 分程度 (各発表後、センターの方々からコメントあり)

### ◆◆ 報告内容 ◆◆

- I. 受付業務について
- II. 新聞の切り抜き作業・新聞広告の作成にあたって
- III. セミナーの準備・講座を受講して
- IV. 「関西創業サポートセンター」について

### ◆◆ 報告会の目的 ◆◆

- ・ 報告会を通して「プレゼンをする」ということを学ぶ。
- ・ 各グループがそれぞれの良さを生かして報告する。
- ・ センターの方々から、これまでとは違った角度で見えていただき、アドバイスをいただく。

## 関西創業サポートセンターでのインターンシップの受け入れについて

### 1 関西創業サポートセンターで出来ること

当センターを利用される方々は、自分の思い、自分の夢、今後の仕事、夢を実現するための仕事への取り組み方等々のいわば自分自身を見つめなおす作業を伴いながら、創業、起業について、多方面の各業種、職種からの視点から自己実現を図ろうとされる方々で満ちている。

大学の学生生活から初めて仕事に就く、いわゆる初職に臨むためのエネルギーを就職（活）力と例えれば、当センターを利用される方々のエネルギーは起業力と例えることが出来る。

この双方の共通点は、個々人それぞれのエネルギーを蓄積させて、どの時期、どの場面でフラッシュバックさせ、その効果が最大限になるのかを自分に問いかけること。そして、方向を決め、自分を信じて突き進むことに見ることが出来る。

そのような者同士が、同じ空間で生活し、同じ空気を吸い熱いエネルギーを共有するという事は、当サポートセンターならではの設定ではないか。という思いがある。

### 2 考えていることと、身体を動かして出来ることは違う

体験は身体で感じ取るもので、知識をどのように応用するか実践の場である。電話の応対一つにおいても、マニュアルは整備できるがそれはあくまでマニュアルの域を出ない。読めば出来る、考えれば出来ると思えるのであるが、身体（コミュニケーション）を交えて出来るかと言えば、中々難しい。

何事においても、仕事をしているチームのコミュニケーション、接客業ではなお更に、このコミュニケーションは難しいのに気付かされる。

このように思考回路と動作回路とは違う、現場の体験の中から自分を知ることが大切ではないか。

### 3 「三かく」を忘れるな！

仕事を経験するに当たり、今後色々な場面に遭遇することがあるがインターンシップの経験でも次の「三かく」に集約される。

- ① 汗をかく・・・何事も、自分の足で汗を流して自分のものとする事。
- ② 恥をかく・・・最初は皆が初心者、判らないことは聞き、自分のものとしながら発表し人前で恥をかくこと。
- ③ 文を書く・・・タイミングを見て、各ステップで整理し、ドキュメント化を心がけること。

センター長